

資料編 目次

資料 1 : 生命産業創造学科の概念図

資料 2 : カリキュラム構成図

資料 3 : 学校法人新潟科学技術学園服務規程 (抜粋)

資料 4 : 学校法人新潟科学技術学園特定教員及び特任教員任用要綱 (抜粋)

資料 5 : 新潟薬科大学教育研究支援職員の任用に関する規程

資料 6 : 新潟薬科大学スチューデント・アシスタント(SA)規程

資料 7 : 新潟薬科大学ティーチング・アシスタント(TA)規程

資料 8-1 : 地域活性化フィールドワーク I 及び II 学生受入れ依頼文

資料 8-2 : 地域活性化フィールドワーク I 及び II 商店街説明資料

資料 8-3 : 地域活性化フィールドワーク I 及び II

学生受入れ承諾書受領一覧表及び学生受入れ承諾書

資料 9 : 履修モデル

資料 10 : 新津駅東口キャンパス用地平面図

資料 11 : JR 新津駅東口市有地の売払いについて

(新津駅東口キャンパス用地取得に関する新潟市長名の確約書)

資料 12-1 : 平成 26 年度応用生命科学部時間割表

資料 12-2 : 平成 26 年度薬学部時間割表

資料 13 : 平成 26 年度講義室使用状況一覧表

資料 14 : 大学案内 2015

「農」と「食」および「環境」の「ものづくり」を総合的に支援し、マネジメントできるプロデューサーとして「企画・開発・経営」に携わる人材育成を行う

※新津東口キャンパス イメージ図



カリキュラム構成図

大目的

生命産業という観点から
地域・国家の食・環境に関する
諸問題を解決する

背景：
生命産業（食・環境）はあらゆる地域や国において重要なテーマとなっている

具体像

生命産業に関するあらゆる課題を
事業の視点で解決する人材

コンセプト：
既存の知識教育型の大学教育の問題点を改善することのほか、専門領域の確立を行いながら、社会やビジネスで実践的に役立つ教育を行う

カリキュラム設計方針：
社会ニーズから学科の方針、カリキュラムを構成する

社会に出る前に備える力
(大学で教育する3大分野)

生命産業分野で通用する能力

社会・ビジネスの場で通用する能力

生命産業を
変革する技術力
(応用生命科学科)

求められるスキル

業界
基礎知

業界
応用知

共感力

表現力

学習力

共有力

洞察力

実践知

スキルの概要

生命産業食業界全般、環境、生産、流通、管理、販売等の一連、農業等の業界の知識等を習得する。

生命産業の現状の課題、取り巻く背景、業界の最先端の業務等について学習する。

自ら体験することで、新たな気づきを得て、他者から学ぶ方法を身につける。

学習したことを積極的に表現して、活用・実践するための知識を習得する。

学習する姿勢、方法を習得し、個人で理解し、消化する力を身につける。学習に必要な汎用的能力を習得する。

既存の知識・情報を収集・分析する力を身につけ、新たな価値を創造する。

物事を俯瞰的に捉え、課題を発見し、解決の方向性を考える力を身につける。

理論で学んだ上で、体験して学習することで、活きた知識を習得する。

カリキュラムの内容

- ・基礎科学実験Ⅰ
- ・基礎科学実験Ⅱ
- ・コンビニエンスストア論
- ・食品管理論
- ・歴史・風土から見た食環境
- ・中食・外食論
- ・自然共生論
- ・食品科学概論
- ・食品開発論
- ・環境科学概論
- ・レギュラトリーサイエンス

- ・1次産業論
- ・2次産業論
- ・3次産業論
- ・6次産業化論
- ・食文化論
- ・低炭素論
- ・環境汚染論
- ・リサイクル論
- ・食品香粧学
- ・食品製造論
- ・環境技術論
- ・スマートシティ論
- ・健康食品論

- ・地域活性化フィールドワークⅡ
- ・地域活性化システム論

- ・ブランド構築論
- ・情報収集論
- ・産業経営管理論
- ・生命産業のビジネス論
- ・生命産業経済学
- ・産業プロデュース論
- ・産業マーケティング論

- ・学習論
- ・ITリテラシー基礎・応用
- ・情報システム学
- ・情報収集論
- ・社会調査論
- ・生命産業に関わる法学

- ・情報共有論
- ・プレゼンテーション論
- ・生命産業に関わる情報システム学

- ・生命産業に関わるコンサルティング論
- ・コミュニケーション論

- ・産業プロジェクト管理論
- ・生命産業デザイン論
- ・知的財産論

生命産業をテーマに学習・実践

学校法人新潟科学技術学園服務規程

制 定 昭和 53 年 4 月 1 日

最新改正 平成 22 年 6 月 30 日

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この規程は、学校法人新潟科学技術学園の目的及び使命を達成するため、教職員（以下「職員」という。）の就業に関し、その規律並びに条件について基本的事項を定めたものである。

(適用)

第 2 条 この規程でいう職員とは、第 2 章で定める手続きにより採用され、本学園に勤務する者をいい、その服務については、関係法令その他に別に定めある場合のほか、この規程の定めるところによる。

(基本的態度)

第 3 条 職員は、建学の精神を体し、一致協力して学園の興隆発展に寄与しなければならない。

(遵守事項)

第 4 条 職員は、服務に関し次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 互いに協調し職場の秩序を維持し、諸規則を守って誠実に職務を遂行すること。
- (2) 職制によって定められた上長者の指示命令に従い、上長者は常に所属職員の人格を尊重するとともに、みずから率先垂範して指導監督の責務を遂行すること。
- (3) 職務上知りえた機密を漏らし又は許可なく機密に関する文書、帳票類を閲覧謄写させないこと。
- (4) 許可なくして、公職若しくは他の職務に就き又は学園外の業務に従事し若しくは事業を営まないこと。
- (5) その他学園の指示に反する行為をしないこと。

第 2 章 人事

(採用)

第 5 条 教育職員は、大学院設置基準、大学設置基準、短期大学設置基準、専修学校設置基準その他の法令に定める資格を有する者のうちから採用する。

2 前項以外の職員は、人物、学歴、知識、技能、経験、健康、免許等を勘案し相当と認める者を採用する。

(試用期間)

第 6 条 新たに採用した者については、採用の日から 6 か月間を試用期間とする。

2 試用期間中又は試用期間満了の際、引き続き職員として勤務させることが不相当と認められる者は解雇する。

3 試用期間は、勤続年数に通算する。

(採用時の提出書類)

第7条 職員に採用された者は、採用後2週間以内に次の書類を提出しなければならない。
ただし、事情によって一部を省略することができる。

- (1) 履歴書
- (2) 学校卒業証明書
- (3) 戸籍を証明する書類
- (4) 資格・免許を証明する書類(資格・免許を採用条件とする場合)
- (5) 家庭調書
- (6) その他必要と認められる書類

(配置転換、職務の変更及び出向)

第8条 業務の都合により、職員に勤務の配置転換、職務の変更及び出向を命ずることがある。

2 職員の出向について必要な事項は、出向規程に定めるところによる。

(事務引継)

第9条 前条による配置転換又は変更の場合には、遅滞なく一切の業務を処理し、文書をもって後任者にこれを引き継がなければならない。

(休職事由)

第10条 職員が次の各号の一に該当するときは、休職を命ずる。

(1) 傷病(ただし、業務上の傷病を除く。)のため、引き続き欠勤して次の期間を経過した場合

- ア 在職2年未満の者 1か月
 - イ 在職2年以上10年未満の者 3か月
 - ウ 在職10年以上の者 6か月
- (2) 傷病以外の事由により引き続き欠勤1か月に及んだ場合
 - (3) 学園が命じた留学(外国、国内)の場合
 - (4) 刑事事件により起訴された場合
 - (5) 職制の改廃又は定員の改訂その他正当な理由がある場合

(休職期間)

第11条 休職期間は、休職の事由により次のとおりこれを定める。

- (1) 休職が前条第1号による場合
 - ア 在職2年未満の者 6か月
 - イ 在職2年以上10年未満の者 12か月
 - ウ 在職10年以上の者 12か月プラス在職年数1年につき1か月
- (2) 休職が前条第2号による場合 1か月
- (3) 休職が前条第3号による場合 24か月
- (4) 休職が前条第4号による場合 一審判決言渡しまでの期間
- (5) 休職が前条第5号による場合 12か月

(復職)

第 12 条 休職事由が消滅した場合には、願い出により復職を命ずる。

(解雇事由)

第 13 条 職員が次の各号の一に該当するときは、解雇することができる。

- (1) 職員としての能力を欠き、職務に適しないと認められた場合
- (2) 疾病又は身体障害のため勤務に堪えないと認められた場合
- (3) 業務上の傷病で療養中の者が打切補償を受けた場合
- (4) その他やむを得ない学園の事由がある場合

2 前項の規定によって解雇するときは、少なくとも 30 日前に予告するか又は 30 日分の平均賃金を支給する。ただし、天災事変その他やむを得ない事由によって学園の継続が不可能となった場合又は職員の責に帰すべき事由による場合であって、あらかじめ行政官庁の認定を受けたときは、この限りではない。

3 前項の予告日数の一部について平均賃金を支払った場合には、その日数だけ予告日数を短縮する。

(解雇時期の制限)

第 14 条 職員が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養するために休業する期間及びその後 30 日間、並びに産前産後の休暇期間及びその後 30 日間は、前条の規定にかかわらず解雇しない。ただし、打切り補償を支払う場合又は天災事変その他やむを得ない事由のために学園の継続が不可能となった場合においては、この限りでない。

(退職の申出)

第 15 条 職員が自己の都合により退職するときは、教育及び事務の妨げにならない時期を選び、3 カ月以前に申し出るものとする。

(退職)

第 16 条 職員が次の各号の一に該当するときは、その身分を失う。

- (1) 死亡したとき。
- (2) 定年に達したとき。
- (3) 休職期間が満了しても復職を命ぜられないとき。
- (4) 期間を定めて雇い入れた者の契約期間が満了したとき。
- (5) 退職を願い出て学園が承認したとき。
- (6) 退職を願い出て学園が正当な理由なくこれを承認しないときは、願い出後 2 週間を経過したとき。
- (7) 国会議員、地方公共団体の議員、首長その他有給公務員に就任したとき。

(退職解雇と遵守事項)

第 17 条 職員が退職し又は解雇されたときは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 所属長の指示に従い、後任者に業務のすべてを引き継ぐこと。
- (2) 学園から貸与を受けた金品を速やかに返却すること。
- (3) 学園の身分証明書、私立学校教職員共済加入者証その他求められた書類を返却す

ること。

(4) 学園の施設に居住しているときは、退職又は解雇の日から1カ月以内に明け渡すこと。

(5) その他学園が必要と認める指示に従うこと。

(定年)

第18条 職員は、次の各号の区分に応じて、次の各号に掲げる年齢の誕生日の属する日の年度3月末をもって定年とする。ただし、次の第1号から第3号において、学部・学科等の新設による申請に際し、本学園の設置する学校以外から招聘した教育職員は、認可を受けた学部・学科等の完成年度まで定年を延長する。

(1) 新潟薬科大学の教育職員 68歳

(2) 新潟工業短期大学の教育職員 65歳

(3) 新潟医療技術専門学校 of 教育職員 65歳

(4) 事務職員(保健室の保健師及び看護師を含む。) 65歳

第3章 勤務

(勤務時間)

第19条 職員の勤務時間は、月曜日から金曜日まで、始業時刻を午前8時30分、終業時刻は午後5時とする。

2 入学試験、諸種の会議、行事、その他業務上特に必要ある場合においては、前項の始業時刻を繰り上げ、また終業時刻を繰り下げることができる。

3 教育職員については、自己の校務上の必要上、勤務時間外に自発的に執務した時間については、自宅研修とみなし、超過勤務として扱わない。

(休憩時間)

第20条 前条の勤務時間の途中に、50分間の休憩時間を置く。ただし、前条第2項の規定による労働時間が8時間を超える場合においては、これを1時間20分とする。

(勤務時間等の適用除外)

第21条 職員のうち、次に掲げる者については、勤務時間、休憩時間、及び休日に関する規定は適用しない。

(1) 管理、監督の地位にある者、又は機密の事務を取り扱う者

(2) 監視又は断続的業務に従事する者で、所轄労働基準監督署の許可を受けた者

(出勤)

第22条 職員は、出勤のつど、自ら出勤簿に押印し、直ちに勤務できるよう準備しなければならない。

(休日)

第23条 職員の休日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日及び土曜日

(2) 国民の祝日に関する法律の定める日

(3) 学園創立記念日(6月14日)

(4) 年末年始(12月29日より翌年1月3日まで)

(5) 夏季休暇(8月10日より8月16日まで)

(6) その他必要と認める臨時の日

(休日振替)

第24条 学園は、校務の都合により、前条の休日を他の日に振り替えることができる。

(災害時の勤務)

第25条 非常災害その他やむを得ない事由によって、臨時の必要がある場合は、時間外又は休日に勤務させることがある。

(出張)

第26条 職員が学園の用務により出張した場合は、通常の勤務時間で勤務したものとみなす。

2 出張に関する規程は、別に定める。

(研修)

第27条 職員は、その職責を遂行するため、絶えず研究と修養に務めなければならない。

2 教育職員は、研究成果を公表するよう努力しなければならない。

(学術研修のための派遣)

第28条 人物が優秀な職員であって、所属長の推薦がある者について、職員として勤務するに必要な学術を研修させるため、学園は、大学、研究所、その他に派遣することができる。

(特許権等の帰属)

第29条 職員が学園の施設・経費等を基盤とした研究によって、特許、実用新案等の無体財産権を得たときは、その権利は原則として学園に帰属するものとする。

(当直)

第30条 学園は、業務の都合により、職員に対し日直又は宿直を命ずることができる。

2 職員は、正当な理由がない限り、前項の命令を拒むことができない。

(年次有給休暇)

第31条 職員に対しては、20日の年次有給休暇を与える。ただし、新たに本採用された者については、初年度に限り10日とする。

2 職員は、できる限り早期に受休の日を所属長に申し出なければならない。

3 業務の正常な運営に支障があるときは、これを他の日に変更するよう命ずることができる。

4 年次有給休暇の残余は、20日以内をその翌年度に限り繰り越すことができる。

(特別休暇)

第32条 次の場合には、特別休暇を与える。

(1) 慶弔休暇

ア 本人の結婚 5日以内

イ 子の結婚 3日以内

- ウ 兄弟姉妹の結婚 2日以内
- エ 妻の出産 2日以内
- オ 父母、配偶者又は子の死亡 7日以内
- カ 祖父母、兄弟姉妹並びに配偶者の父母の死亡 3日以内
- キ 配偶者の兄弟姉妹の死亡 2日以内
- ク 同居親族の死亡 1日

(2) 産前産後の休暇

産前6週間（多胎妊娠の場合にあつては14週間）・産後8週間、ただし、産前の場合は本人からの請求があつたときに限る。

(3) 育児休暇

生後3年に達しない子の養育等を行う場合、1日2回それぞれ30分以内の時間

(4) 介護休暇

ア 要介護状態にある家族の介護その他の世話をする場合、第31条に定める年次有給休暇とは別に、当該家族が1人の場合は1年間に5日以内（2人以上の場合は1年間に10日以内）とする。この場合の1年間とは、4月1日から3月31日までの期間とする。

イ 介護休暇は、半日又は時間単位で取得することができる。

ウ 介護休暇を取得しようとする職員は、原則として、事前に理事長に申し出るものとする。

エ 給与、賞与、定期昇給及び退職金の算定に当たっては、取得期間は通常の勤務をしたものとみなす。

オ 介護休暇は、翌年度に繰り越すことができない。

(5) 子の看護休暇

ア 小学校就学前の子の看護を行う場合（負傷し、若しくは疾病にかかった当該子の世話をするために、又は当該子に予防接種や健康診断を受けさせるため）、当該子が1人の場合は1年間に5日以内（当該子が2人以上の場合は1年間に10日以内）とする。この場合の1年間とは、4月1日から3月31日までの期間とする。

イ 子の看護休暇は、半日又は時間単位で取得することができる。

ウ 子の看護休暇を取得しようとする職員は、原則として、事前に理事長に申し出るものとする。

エ 給与、賞与、定期昇給及び退職金の算定に当たっては、取得期間は通常の勤務をしたものとみなす。

(6) 生理休暇

生理日の勤務が著しく困難な女子職員については、1回につき2日以内

(7) 祭祀法要休暇 1日

(8) 公民権行使のための時間 必要な時間

(9) 災害休暇 2日以内

2 本条に定める休暇の期間は、有給とする。

(育児休業)

第 32 条の 2 職員が、1 歳に満たない子を養育するための休業については、別に定める育児休業規程による。

(介護休業)

第 32 条の 3 職員が、要介護状態にある親族を介護するための休業については、別に定める介護休業規程による。

(特別休暇の手続)

第 33 条 職員は、第 32 条に定める休暇を請求しようとするときは、あらかじめ所属長に願い出なければならない。ただし、やむを得ない事由があるときは、事後速やかにその承認を得なければならない。

(学外兼職の許可)

第 34 条 職員が学園以外の学校に出講しようとするとき、あるいは他の職を兼ねようとするときは、あらかじめ願い出て、許可を受けなければならない。

2 在職 5 年未満の職員には、原則として前項の許可は与えない。

(承認事項)

第 35 条 職員は、次の場合には所属長に届け出て、その承認を得なければならない。

(1) 所定の納金以外の金銭を学生生徒より徴収する場合

(2) 日曜日、休業日などに学生生徒を召集し、又は学外に引率する場合

2 職員が学園施設内において、講習、集会、演説をし、又は文書・図画等を配付・掲示しようとする場合は、あらかじめ所属長の承認を受けなければならない。

第 4 章 給与等

(給与)

第 36 条 給与規程は、別にこれを定める。

(退職金)

第 37 条 退職金規程は、別にこれを定める。

(出張旅費)

第 38 条 出張旅費規程は、別にこれを定める。

(慶弔慰金)

第 39 条 慶弔慰金規程は、別にこれを定める。

(福利厚生)

第 40 条 職員の福利厚生事業は、学園の財政を勘案して行うほか、別に定める職員互助会規程による。

第 5 章 表彰及び懲戒

(手続)

第 41 条 表彰及び懲戒は、賞罰委員会の議を経て、これを行う。ただし、免職については、理事会の承認を必要とする。

2 賞罰委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

(表彰事由)

第42条 職員が次の各号の一に該当するときは、表彰する。

- (1) 学園の発展に特に功績のあったとき。
- (2) 学術上顕著な研究業績のあったとき。
- (3) 教育実践上功績のあったとき。
- (4) 業務遂行上功績のあったとき。
- (5) 国家的社会的功績があり、学園の名誉を高めたとき。
- (6) 永年誠実に勤務したとき。
- (7) その他特に表彰の必要があると認めたとき。

(表彰の方法)

第43条 表彰は、次の各号の一又は二以上を併せて行う。

- (1) 賞状
- (2) 賞品
- (3) 賞金
- (4) 昇給
- (5) 昇格

(懲戒事由)

第44条 職員が次の各号の一に該当するときは、懲戒する。

- (1) 職務上の業務に違背し又は職務を怠ったとき。
- (2) 学園内の秩序を乱したとき。
- (3) 学園の名誉を傷つけ又は信用を失墜させる行為があったとき。
- (4) 職員としての品位を傷つけ又は体面を汚す行為があったとき。
- (5) 故意又は過失により学園に損害を与えたとき。
- (6) 経歴を偽り又は不正の方法で採用されたとき。
- (7) その他この規程又は学園の諸規定に違背する行為があったとき。

(懲戒の種類)

第45条 懲戒の種類は、情状により戒告、減給、停職、降格及び免職の5種類とする。

- (1) 戒告は、始末書を取り、将来を戒める。
- (2) 減給は、1回の不都合行為につき平均賃金の半日分以下を減額する。ただし、その総額は、当該月内における賃金総額の10分の1以内とする。
- (3) 停職は、就業日7日以内の出勤を停止し、その間の給与を支払わない。
- (4) 降格は、役職を免じ、又は2等級の範囲内で給与の等級を下ろす。
- (5) 免職は、即時解雇とする。

(諭旨退職)

第46条 前条第5号にあたる場合においても、行為の動機、態様及び結果につき特に酌量すべき事由があるときは、平常の勤務成績などを考慮し、免職によらず諭旨退職とする

ことができる。

(損害賠償)

第 47 条 懲戒処分に付された者が学園に損害を与えた場合には、その全部又は一部を賠償させることができる。

第 6 章 保健衛生及び安全

(健康診断)

第 48 条 職員に対しては、毎年定期 1 回以上健康診断を行う。

2 職員は、前項の健康診断を拒むことができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、他に医師の健康診断書をもってこれに代えることができる。

(疾病にかかった場合)

第 49 条 職員が伝染病、精神病、その他就業に不相当と認められる疾病にかかった場合には、医師の診断により、就業させないことができる。

2 職員は、同居人が伝染病にかかり又はその疑いがあるときは、直ちにその旨を所属長に届け出なければならない。

(非常事故の措置)

第 50 条 職員は、火災その他異常事態を発見し又はそのおそれがあることを知った場合には、臨機の措置をとるとともに被害を防止するよう努めるものとする。

2 防火、ボイラー、危険物などの取り扱い組織については、別に定める。

第 7 章 災害補償

(療養補償)

第 51 条 職員が校務上負傷し、又は疾病にかかった場合には、療養補償として必要な療養を行い、又は必要療養の費用を支給する。

(休業補償)

第 52 条 職員が前条に定める療養のため、欠勤し又は休職となったときの給与支払については、別に定めるところによる。

(障害補償)

第 53 条 職員が校務上負傷し、又は疾病にかかり、治ったときに、なお身体に障害の存する場合には、その障害の程度に応じ法令の定めるところにより障害補償を行う。

(遺族補償)

第 54 条 職員が校務上死亡した場合には、遺族に対して、その職員の死亡当時の本俸、扶養手当の 12 か月分の遺族補償を行う。

(打切補償)

第 55 条 休業補償を受ける職員が療養開始後 2 年を経過しても、負傷又は疾病が治らない場合には、本俸、扶養手当の 24 か月分の打切補償を行い、その後は本章による補償は行わない。

(補償の例外)

第 56 条 職員が重大な過失により、校務上負傷又は疾病にかかり、若しくは死亡したとき

は、その過失につき行政官庁の認めた場合においては、本章による休業補償又は障害補償は行わない。

附 則

1 この規程は、昭和 53 年 4 月 1 日から改正施行する。

2 第 18 条については、次のとおり経過措置を定める。

施行の際既に満 70 歳（教育職員）、満 67 歳（事務職員）を超えている職員については昭和 53 年末をもって定年とし、満 70 歳（教育職員）、満 67 歳（事務職員）未満で 1 年以内に定年に該当する職員については昭和 54 年度末をもって定年とする。

附 則

この規程は、平成元年 2 月 15 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 12 年 5 月 23 日から施行し、平成 12 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 第 18 条第 2 号の職員で、施行の際、既に満 65 歳を超えている者については、1 年間延長する。

附 則

この規程は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 16 年 5 月 26 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 12 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 22 年 6 月 30 日から施行する。

学校法人新潟科学技術学園特定教員及び特任教員任用要綱

制 定 平成 16 年 12 月 8 日

最新改正 平成 26 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 学校法人新潟科学技術学園が設置する新潟薬科大学、新潟工業短期大学及び新潟医療技術専門学校（以下「本学園設置の大学等」という。）の教育と研究に資するため特定教員及び特任教員を任用する場合は、この要綱の定めるところによる。

(定義)

第 2 条 特定教員及び特任教員は、本学園設置の大学等の定年に達し退職した教員及び他大学等を定年又は定年に近接した年齢で退職した者をなお必要とするとき、雇用する教員をいう。

2 特定教員は、大学院、学部・学科等の新設のため採用する教員をいう。

3 特任教員は、前項に定める教員以外の教員をいう。

(任用の基準)

第 3 条 特定教員及び特任教員は、本学園設置の大学等において必要な教育及び研究を担当する専任教員とし、任用の基準は次による。

(1) 本学園設置の大学等において、教授、准教授又は講師（以下「大学教授等」という。）の経験を有する者

(2) 他大学等において、大学教授等の経験を有する者

(3) 相当規模の試験研究機関等に勤務し、大学教授等と同等の資格を有すると認められる者

(職名)

第 4 条 特定教員及び特任教員の職名は、次のとおりとする。

(1) 教授

(2) 准教授

(3) 講師

(任用の期間)

第 5 条 特定教員及び特任教員の任用期間は、次による。

(1) 特定教員の任用期間は、大学院、学部・学科等の新設による申請に際し、認可を受けた大学院、学部・学科等の完成年度まで任用することができる。

(2) 特任教員の任用期間は 1 年とする。ただし、原則として 2 か年を限度として更新することができる。

(任用の手続)

第 6 条 特定教員及び特任教員の任用に当っては、学長又は校長（以下「学長等」という。）が教授会又は教員会（以下「教授会等」という。）の議を経て、理事長に内申する。

(服務)

第7条 特定教員及び特任教員の服務は、原則として学校法人新潟科学技術学園服務規程の定めるところによるが、勤務の形態等により、これにより難しいものについては、学長等が定める。

(制限)

第8条 第2条第3項による特任教員は、本学園設置の大学等の学則で定める教授会等の構成員とはならない。

2 前項による特任教員には、原則として研究費及び研究旅費は支給しない。

(給与等)

第9条 特定教員及び特任教員に支給する給与は勤務の形態により次のとおりとし、理事長が学長等の意見をきき決定する。

(1) 第2条第2項による特定教員

イ 基本給 別に定める「特定教員、職員の初任給格付け及び運用について」に基づき決定

ロ その他の手当 専任教員に準ずる。

(2) 第2条第3項による特任教員

① 勤務の形態が専任教員に準ずる者

イ 基本給 別に定める「特定教員、職員の初任給格付け及び運用について」に基づき決定

ロ その他の手当 通勤手当及び期末手当、ただし期末手当の支給率は専任教員の2分の1とする。

② 上記以外の者

イ 基本給 理事長が学長等の意見をきき、その都度決定

ロ その他の手当 通勤手当

(3) 特定教員及び特任教員の給与の定義及び給与の支給方法等は専任教員に準ずる。

(4) 第2条第3項の特任教員に対しては、退職金は支給しない。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成16年12月8日から施行する。

(要綱の廃止)

2 新潟薬科大学特任教員任用要綱(昭和61年4月1日施行)、新潟工業短期大学特任教員任用要綱(平成4年4月1日施行)及び新潟医療技術専門学校特任教員任用要綱(平成2年4月1日施行)は、この要綱施行の日をもって廃止する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

(新潟工業短期大学経費削減に関する特例措置)

2 新潟工業短期大学における特任教員の任用については、平成 21 年度から 5 年間、別に定める新潟工業短期大学特任教員任用要綱による。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

(新潟工業短期大学経費削減に関する特例措置)

2 新潟工業短期大学における特任教員の任用については、平成 26 年度から 10 年間、別に定める新潟工業短期大学特任教員任用要綱による。

新潟薬科大学教育・研究支援職員の任用に関する規程

制 定 平成 18 年 4 月 1 日

最新改正 平成 26 年 4 月 1 日

(目的)

第 1 条 新潟薬科大学（以下「本学」という。）の教育・研究の補助業務に従事する職員（以下「支援職員」という。）の任用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第 2 条 支援職員は、次に掲げる資格を有する者又はこれと同等の能力を有する者とする。

- (1) 大学を卒業し、学士の学位を有する者（ランク 1）
- (2) 大学院修士課程を修了し、修士の学位を有する者（ランク 2）
- (3) 修士以上の学位を有し、教育研究上の業績がある者（ランク 3）

(任用の手續)

第 3 条 支援職員の任用は、本学部教授会構成員である教員からの推薦により、別記様式にて申請し、当該学部の将来計画委員会にて審査後、教授会の議を経て学部長から学長に申請し、学長が理事長に内申する。

(任用期間)

第 4 条 任用期間は、1 年とする。ただし、原則として 2 年を限度として更新することができる。

(定年)

第 5 条 支援職員は、68 歳に達した誕生日の属する年度末をもって定年とする。

(服務)

第 6 条 支援職員の服務は、新潟科学技術学園服務規程又は他の法令等の定めるところによる。

(待遇)

第 7 条 支援職員の給与（年額を月割りで支給）は次のとおりとする。なお、給与以外（諸手当、期末手当、退職金等）は支給しない。ただし、通勤手当については学校法人新潟科学技術学園給与規程に準ずる。財源は学部費負担とする。

ランク	給与（月額）	研究室負担額（年額）
ランク 1	14 万円	168 万円※
ランク 2	17 万円	204 万円※
ランク 3	20 万円	240 万円※

※各種保険については各学部負担とする。

（規程の改廃）

第 8 条 この規程の改廃は、大学運営評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この要項は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 19 年 2 月 23 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

新潟薬科大学スチューデント・アシスタント（SA）規程

制 定 平成 23 年 4 月 22 日

最新改正 平成 25 年 4 月 1 日

（趣旨）

第 1 条 この規程は、新潟薬科大学（以下「本学」という。）におけるスチューデント・アシスタント（以下「SA」という。）に関し必要な事項を定める。

（目的）

第 2 条 SA は、本学学部にて在籍する優秀な学生に対し、本人の教育研究に支障が生じない教育的配慮の下に、該当授業科目の教育補助を行わせ、本学における教育の充実を図ることを目的とする。

（業務内容）

第 3 条 SA は、本学教員の教育補助員として、次の業務を行う。

- （1） 実験、実習・演習等の補助業務
- （2） その他必要と認める授業等補助

（採用）

第 4 条 SA を必要とする研究室の指導教員は、採用を希望する学生が教育補助業務を行うに十分な能力があり、適任であると認めたときは、別記様式にて、SA を採用する学部の学部長に申請する。

- 2 学部長は、前項の申請があったときは、当該学部教授会の議を経て、採用を決定する。

（採用期間）

第 5 条 SA の採用期間は 1 年以内とする。ただし、当該年度を超えることはできない。

（勤務時間）

第 6 条 SA の勤務時間は、当該学生が受ける授業、研究指導等に支障が生じないように配慮し、1 日 5 時間以内とする。ただし、2 か月の合計時間が 80 時間を超えないものとする。

- 2 SA の業務は教員等の監督の下に行うものとし、午後 10 時以降に従事させないこと。

（手当）

第 7 条 SA の手当は、時間給とし、その額及び支給の方法は別に定める。

（採用の取消し）

第 8 条 学部長は、SA が次の各号の一に該当したときは、採用を取消することができる。

- (1) 休学または退学したとき
 - (2) 除籍または懲戒処分を受けたとき
 - (3) 学生がSAを辞退したとき
 - (4) 学生が受ける教育及び研究指導等に支障が出たとき
 - (5) その他SAとして適当でないと認められたとき
- (規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、各学部教授会の議を経て、大学運営評議会の同意を得るものとする。

附 則

この規程は、平成23年4月22日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

新潟薬科大学ティーチング・アシスタント（T A）規程

制 定 平成 9 年 8 月 1 日

最新改正 平成 25 年 4 月 1 日

（趣旨）

第 1 条 この規程は、新潟薬科大学（以下「本学」という。）におけるティーチング・アシスタント（以下「T A」という。）に関し必要な事項を定める。

（目的）

第 2 条 T A は、本学大学院に在学する優秀な学生に対し、本人の教育研究に支障が生じない教育的配慮の下に、学部学生に対する授業科目等の教育補助業務を行わせ、学部における教育の充実と大学院学生の教育研究能力の向上に資することを目的とする。

（業務内容）

第 3 条 T A の業務内容は、授業科目を担当する教員の指示に従い、学部学生に対する実験、実習等の教育補助業務とする。

（採用）

第 4 条 T A を必要とする研究室の指導教員は、採用を希望する学生が教育補助業務を行うに十分な能力があり、適任であると認めたときは、様式第 1 にて、T A を採用する学部の学部長に申請する。

2 学部長は、前項の申請があったときは、教授会の議を経て、採用を決定する。

（採用期間）

第 5 条 T A の採用期間は、1 年以内とし、契約期間は、当該年度の 4 月 1 日から 3 月 31 日までの 1 年間とする。

（勤務時間）

第 6 条 T A の 1 日の勤務時間は 5 時間以内とする。ただし、2 か月の合計時間が 80 時間を超えないものとする。

（手当）

第 7 条 T A の手当は、時間給とし、その額及び支給の方法は別に定める。

（採用の取消）

第 8 条 学部長は、T A の教育研究に支障が生じたとき、又は新潟薬科大学大学院学則第 50 条（除籍）に該当したときは、採用を取消することができる。

（規程の改廃）

第 9 条 この規程の改廃は、各学部教授会の議を経て、大学運営評議会の同意を得るものとする。

附 則

この規程は、平成 9 年 8 月 1 日から施行し、平成 9 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

様式第1 (第4条関係)

ティーチング・アシスタント (TA) 採用申請書

平成 年 月 日

新潟薬科大学学長 殿
(学部長経由)

当該授業科目 担当者 (責任者)	学 部 名	薬学部・応用生命科学部
	所属研究室名	
	職 位	
	氏 名	印
院生所属 指導責任者	研 究 科 名	薬学研究科・応用生命科学研究科
	所属研究室名	
	職 位	
	氏 名	印

学部実習科目等のティーチング・アシスタント (TA) として、下記の者を採用したいので新潟薬科大学ティーチング・アシスタント (TA) 規程第4条の規定に基づき申請します。

記

太枠線内のみ記入

(ふりがな)			
氏 名			
学 籍 番 号		応用生命科学研究科博士前期課程	薬科学コース (年)
		応用生命科学研究科博士後期課程	応用生命科学コース (年)
		薬学研究科博士課程	薬学研究科博士後期課程 (年)
生 年 月 日	(昭 ・ 平)	年 月 日生	(歳)
住 所	〒 (-)		Tel ()
住民票の住所	〒 (-)		
雇 用 期 間	平成 年 4 月 1 日 から 平成 年 3 月 31 日まで		
担 当 授 業 科 目	前期	(1 日 時間・期間中 日)	
	後期	(1 日 時間・期間中 日)	
支 給 額 合 計	円 (時給単価 円× 時間)		
手 当 振 込 指 定 金 融 機 関	銀行等	銀行 (金庫・組合) 本店・支店	
		・口座番号 口座種別 普通・その他 ()	
	郵便局	・口座番号 記号 番号	
		・口座名義 (カタカナ)	
そ の 他			

(注) 該当する項目の番号に○印を付け、必要事項を記入する。

税 種 別	
扶 養 人 数	

学 長	学部長	事務部長	課長	課長	係
教授会附議			年 月 日 (第 回)		

平成 26 年 4 月 25 日

事業代表者 様

新潟薬科大学
応用生命科学部長 田中 宥司新潟薬科大学応用生命科学部新学科「生命産業創造学科」設置に伴う
実習の実施について（ご依頼）

謹啓 春陽の候、貴社におかれましては益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。日頃は本学応用生命科学部の教育・研究活動の推進にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では平成 27 年度、応用生命科学部に新学科「生命産業創造学科」を開設、さらに平成 28 年度には J R 新津駅東口に隣接する旧 0 番線ホーム脇に「新潟薬科大学新津駅東口キャンパス」を開設するため、現在、文部科学省、新潟市及び新津商工会議所をはじめ関係機関との調整を鋭意進めております。

生命産業創造学科（4 年制・入学定員 60 名）は、「農」と「食」及び「環境」に関する技術や素材（ものづくり）の基礎知識を学びながら、農学分野における「経済学」・「経営学」からのアプローチにより、「農、食、環境（生命産業）における企画・開発・経営（ことづくり）に優れた専門人材（プロデューサー）」を育成します。特に、新学科では「農や食を活かした地域活性化」を中心とした教育活動を計画しており、（科目名）「地域活性化フィールドワークⅠ」及び「地域活性化フィールドワークⅡ」を設定し、地域の企業様や商店様において、販売や接客、さらにはホームページの作成や意見交換などを通して、地域活性化に寄与する実践的なカリキュラムを実施したいと考えております。

そこで、貴社におかれましてはご多忙のところ恐縮ではございますが、上記の趣旨をご理解のうえ、ぜひともこれらの学生をお受け入れくださいますようお願い申し上げます。

なお、お手数ですが、ご承諾のうえは、平成 26 年 5 月 12 日（月）までに
ご記入・ご準備をお願い致します。（新津商工会議所の職員が、貴社へ承諾書の回収に伺わせていただきます。）

謹白

担当	新潟薬科大学応用生命科学部 新学科設置準備室 茂木（もぎ）・齋藤 電 話：0250-25-5108（直通） メール： mogi@nupals.ac.jp
----	--



新津商店街協同組合連合会 様

新学科設置及び「地域フィールドワーク」 の実施について

応用生命科学部・新学科
学科名:「生命産業創造学科」

食品・環境ビジネスに貢献する
人材の育成に向けて

1

新学科の目的

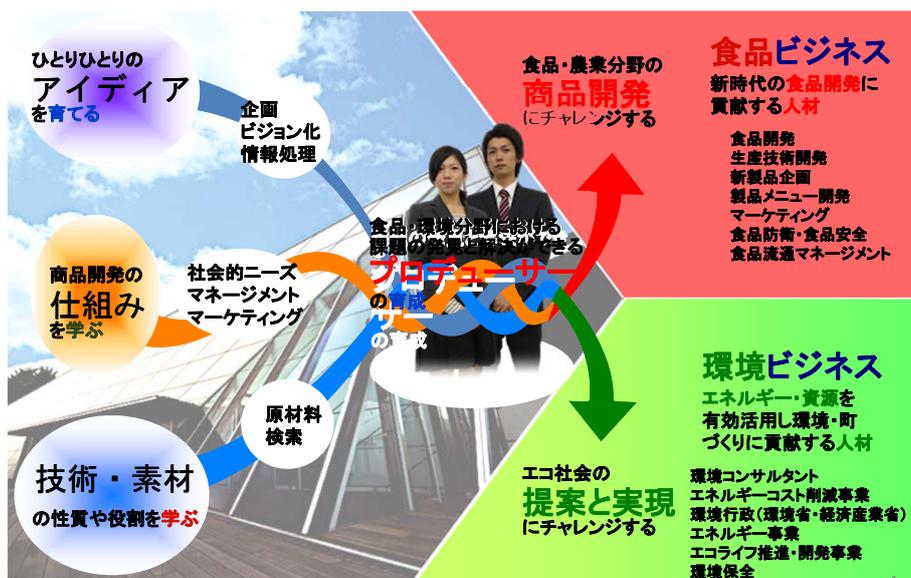
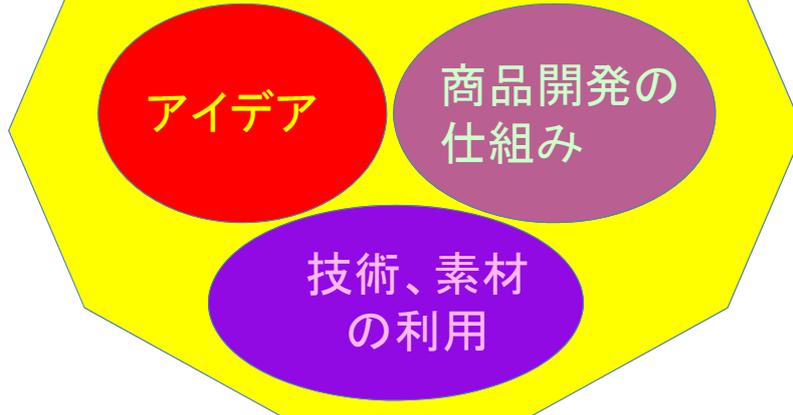
1. 農・食品および環境分野のビジネスプロデューサーの育成
2. 理科系の内容を理解できる文科系の人材の育成
3. 地域に貢献し、地域とともに生きる人材の育成
4. 地域に貢献できるシンクタンクの役割を担うスタッフ

2

消費者が求める新商品を開発するために、商品開発の仕組みを理解し、その分野の技術を理解してアイデアを実現するプロデューサーとなる人材を育成する。

新学科

食品・環境分野におけるプロデューサーの育成



地域との交流の場としての シンクタンク機能

食品、環境、地域活性化に貢献できる教員スタッフの充実
他分野からの人材の参画

地域との交流を中心課題とした教育システム
COC (Center of Community)となる大学機能の充実

◎既任教員(4名)

- **石黒 正路**(生物機能化学)
化学、食品香粧学、他
- **浦上 弘**(食品安全学)
食品科学概論、食品製造論、他
- **小瀬 知洋**(環境工学)
環境科学概論、環境汚染論、他
- **伊藤 美千代**(動物細胞工学)
生物学、基礎科学実験Ⅰ、他

7

科目の担当者 非専任教員(内15名を外部から)

◎新任教員(15名)

- **中嶋 聞多** (法政大学大学院 政策創造研究科 教授)
生命産業における情報システム学、情報共有論
- **日高 幹生** (ダズリング・ナイン(株) 代表取締役)
産業のビジネス論、産業プロデュース論
- **池川 将夫** (日本電気(株)グリーンプラットフォーム研究所 主幹研究員)
論理的思考論、生命産業情報論
- **久塚 智明** (株FBTプランニング 代表取締役社長)
コンビニエンスストア論、食文化論
- **七尾 菜穂子** (サントリーホールディングス(株) 知的財産部)
知的財産論

8

◎既任教員(11名)

■田中 宥司 (新潟薬科大学 応用生命科学部 教授)

自然共生論

■川田 邦明 (新潟薬科大学 応用生命科学部 教授)

生命産業に関わる法学、レギュラトリーサイエンス

■重松 亨 (新潟薬科大学 応用生命科学部 教授)

食品科学概論、食品製造論、他

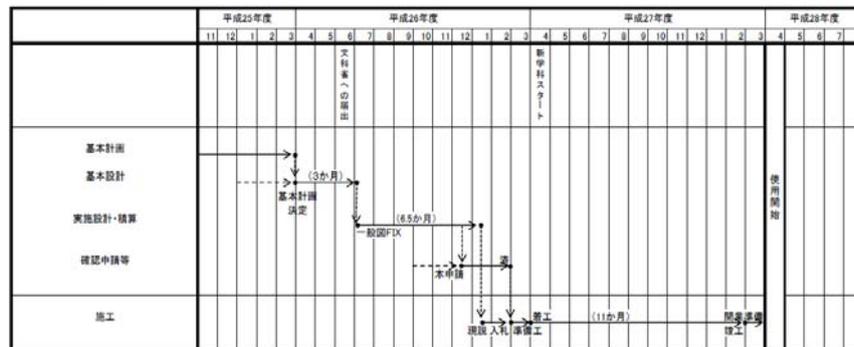
■西田 浩志 (新潟薬科大学 応用生命科学部 准教授)

食品科学概論、健康食品論

■高久 洋暁 (新潟薬科大学 応用生命科学部 准教授)

職業とキャリア形成Ⅰ、職業とキャリア形成Ⅱ

開設実施スケジュール



開設スケジュール

6月末:文科省へ届出書類の提出(予定)
その後:学生募集開始(定員60名)

2015年4月 新学科開設(現キャンパス)

2016年4月 新津駅東口キャンパス
で講義開始

校舎建設スケジュール

平成27年2月:新津駅東口キャンパス
の新校舎建設開始

平成28年3月:新校舎完成
新学科(生命産業創造学科)
の学生および現在の学科の
1年次学生が利用

校舎イメージ図(案)

4階建
延床面積:900坪程度



13

新津商店街 HomePage Project

計画案

14

大学(新学科)の使命

地域との連携

専門分野からの協力支援

人口増大による経済効果

学生(若者)の地域参加



地域コミュニティを学びの場として
地域の連携協力活動を推進

大学と地域コミュニティ

大学 ↔ 地域コミュニティ

大学 ↔ 地域コミュニティ

大学 ↔ 地域コミュニティ

15

新学科の人材育成の目的



大学での学び

学問の素養を身に着ける
(講義)

社会的活動を理解する
・クラブ活動
・学友会活動
・地域活動

地域での活動の推進

地域への貢献を実際の
学習の場へ!

- ・新津商店街のホームページ作成
- ・サポーター企業との連携
- ・-----

16

グーグルで“新津”と検索すると。。。

ウェブ 地図 ニュース 画像 動画 もっと見る▼ 検索ツール

約 2,790,000 件 (0.24 秒)

他のキーワード: 新津美術館 新津車両製作所 新津駅 時刻表 新津植物園

新津駅

maps.google.co.jp/_/place?_gl=新津,新津,...

Google のクチコミ (1) レビューを書く

新津駅

新津駅 - Wikipedia

ja.wikipedia.org/wiki/新津駅

鉄道の街」としても知られる新潟県秋田区新津地区（旧新津市）の中心駅である。信越本線を所属線としており、越後西線と宗谷本線を加えた3路線が乗り入れている。越後西線は線路名称上は当駅が終点であるが、一部の列車は信越本線を通して新潟駅まで...

新津市 - Wikipedia

ja.wikipedia.org/wiki/新津市

新津市（にいつし）は、新潟県にかつてあった市。2005年3月21日に新潟市に編入合併し、消滅した。現在は新潟県秋田区の一部を成す。目次 1 地理 1.1 隣接していた自治体 2 歴史 2.1 市町村合併・行政区域の変遷 3 地域 3.1 新津地区 3.2 その他 の...

地理 歴史 地域 産業

新津観光協会 SLばんえつ物語号 新潟 新津 - 新潟商工会議所

www.nitsu.or.jp/n-kankou/

新津観光協会は新潟県新潟市秋田区観光サイトです。SLばんえつ物語号イベント情報もあつちます。

こちら 民謡の歌謡はこちら 新津フラワーロード について知るフェスタ

新津駅のグルメ・レストラン [食べログ]

tabelog.com/nigata/A1501A150101R7282instlist/

日本最大のグルメサイト「食べログ」では新津駅周辺のレストラン96件を掲載中。独自のランキングやユーザーから寄せられた口コミ、店舗の詳しい情報、空席情報をもとに人気のレストランやあなたにぴったりのレストランが見つかります！

トップページ 新潟市新津美術館

www.city.nigata.lg.jp/nami/

戦後の日本画壇で活躍した新潟県出身の画家・横山操。時間：午前10時～午後5時(券売は午後4時30分まで) 観覧料：一般500円 大高生300円 横山操の書道公開されることの少ない優れた小品の数々を紹介。戦後日本画壇に新風を吹き起こした画家の、...

新潟鉄道資料館 新潟市秋田区

www.city.nigata.lg.jp/.../施設案内/余暇・文化・スポーツ/文化施設

2014/03/14 - 新潟市秋田区新津車庫2丁目5番6号 (電話: 0250-24-5700)

新津フラワーランド: 新潟県内最大級の花屋・総合園芸売店

www.nf-land.com/

花・夢・創造。新津フラワーランドの店内は年中四季折々の花や緑でいっぱい！ 展示会・園芸教室も多数開催中！

JR東日本: 各駅情報(新津駅)

www.jreast.co.jp/estation/station/info.aspx?StationCd=1142

新津 について 駅時刻表を確認する。駅構内図は現在ご確認いただけません。周辺地図の地域情報を確認する... 開業年月日、明治30年11月20日。駅住所、新潟県新潟市秋田区新津本町1丁目 所属支社、新潟支社...

新津商店街にたどり着けない、、、

17

グーグルで“新津商店街”を検索すると。。。

新津まちなか“てくてく”マップ（新津商店街MAP）：新津商...

www.nitsu.or.jp/teketu/teketu.html

主に日中営業している小売業・サービス業、飲食店などを掲載しています。(2013.15現在) 新津の元気なお店がいっぱい！！ (PDF1730KB) 新津まちなか“てくてく”マップ（新津商店街MAP）は、JR新津駅・新津商工会議所・まちなか駅ばっば・秋田区役所・行政...

新津商店街協同組合連合会

www.chukai-nigata.or.jp/.../市内商店街一覧/市内の商店街連合会

... 街道連合会 > 船橋あまんど協議会 > 秋田市専門会協同組合 > 小千谷商店連合 > 加茂市商店街協同組合 > 十日町市商店街協同組合連合会 > 糸魚川八町工連合会 > TOP > 市内商店街一覧 > 市内の商店街連合会 > 新津商店街協同組合連合会 ...

新津商店街協同組合連合会

www.syoutengai.or.jp/pdf/14/143_047.pdf

背景 新津市は、創造的で活気に溢れた地域産業の復興、や、人、物、情報のネットワークの形成。またこれにより人が輝き活力みなぎる「にまわいと交差のまち」づくりを中心に市街地の活性化は欠かせない。本来商店街は都市の顔であり、地域住民の生活、...

新津商工会議所

www.nitsu.or.jp/

Google+ ページ - 最初のクチコミを書こう

〒956-0864 新潟県新潟市秋田区新津本町3-1-7
0250-22-0121

新津商店街協同組合連合会補助金 新潟市秋田区

https://www.city.nigata.lg.jp/kiakha/torkumihojokin/shoutengai.html

取組基準、ファイルダウンロード 新規ウィンドウで開きます。 新津商店街協同組合連合会補助金取組基準 (PDF: 64KB) 名称、新津商店街協同組合連合会補助金 補助金の概要、新津地域の活性化のため新津商店街協同組合連合会が行う事業に対し事業費、...

新津商店街のホームページ(HP)はないことが分かる。

18

現在ある 新津商店街に関連するホームページ

新津商工会議所

- ・[新津まちなかてくてくマップ](#)
- ・[会員企業リンク](#)

新津商工会議所青年部 Facebook

- ・[アクション！ぼくら新津商工会議所青年部](#)

新潟県商店街振興組合連合会

- ・[新津商店街協同組合連合会](#)

新潟県 秋葉区観光マップ

- ・[新津特産品等宣伝委員会](#)

新津名物ランド

新津特産品等宣伝委員会は各種イベントに積極的に出向き、新津の特産品を県内外に宣伝するとともに「にいつ」をアピールするという活動をしています。

- 新津まつ吉農産品同組合「(在)新津に112」
- (有) 酒井商店
- 金津焼
- 弘前門店 築城まのしな
- 新津菓子組合
- 湖菓子部 (有) 別入
- (有) 新潟産物産物
- (有) 上原菓子社 ひんげ屋
- 神原商店 (有) 神原社 当部
- (株) 三越社
- 有限会社 大塚
- マイク農産



新津特産品等宣伝委員会

事務局／新潟市秋葉区役所 産業振興課 TEL.025023-1000 新潟市秋葉区程島2009番地

19

演習の具体的内容

1. ホームページの作成

- ・インターネットで「新津+商店街」でヒットする新津商店街のホームページ
- ・新津商店街各店舗のホームページの作成



2. 新津商店街「ホームページ」と大学のホームページのリンクの作成

- ・ホームページを管理するサーバーの設定

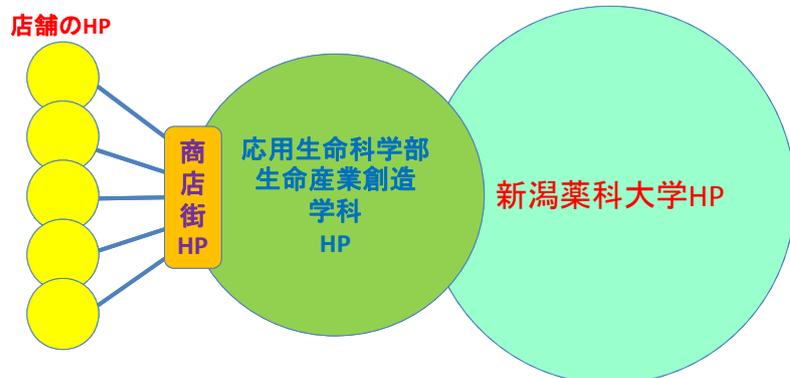
地域活性化フィールドワーク(新学科の必修科目)での演習内容*

1. ホームページの作成法を学ぶ
2. 協力店舗とともにホームページを作る
 - ・学生(3~4人1チーム)と店舗が協議して掲載内容を決める
 - ・学生が各店舗の掲載内容を含むホームページを作成
3. ホームページ利用状況の定期的チェックと定期的なメンテナンス
4. 上記の内容について協力店舗とともに成果発表会を開催する

* 演習においては担当教員および支援職員が教育にあたる。

20

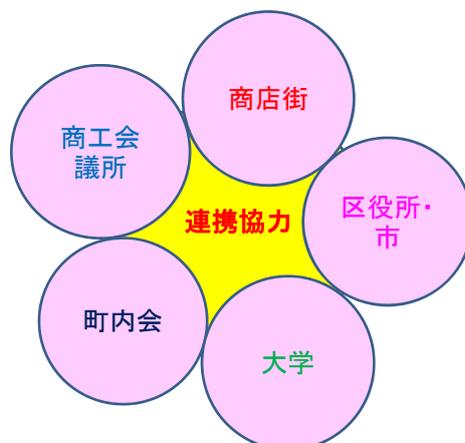
ホームページ(HP)のイメージ



21

地域と大学の連携協力活動

—お互いのメリットを生み出す課題に取り組む活動—



22

No.	店舗名	代表者	所在地	事業内容
1	有限会社浅田洋品店	代表取締役社長 浅田 裕	新潟市秋葉区新津本町2-3-12	衣料品販売
2	有限会社飛鳥	代表取締役 青木 鴻一	新潟市秋葉区新津本町2-17-1	飲食業(中華料理)
3	あつあつ亭新津店 本多商店	本多 トシ	新潟市秋葉区山谷南4485-1	弁当・惣菜 製造・販売
4	有限会社阿部久	代表取締役 阿部 康孝	新潟市秋葉区新津本町2-5-30	パン、菓子製造・販売
5	有限会社石山パン店	代表取締役 石山 英輔	新潟市秋葉区新津本町2-6-32	パン製造・販売
6	株式会社一楽	代表取締役 渡辺 和子	新潟市秋葉区新津本町2-7-10	飲食業(割烹)
7	Inception	林 茂	新潟市秋葉区程島1865-1	衣料品販売
8	有限会社大阪屋商店	代表取締役 水野 浩美	新潟市秋葉区新津本町2-5-26	生菓子製造業
9	有限会社奥村薬局	取締役 山岸 里美	新潟市秋葉区新津本町2-2-12	医薬品販売
10	株式会社春日薬局	代表取締役 春日 健二	新潟市秋葉区新津本町3-9-10	医薬品、化粧品等販売
11	メンズ&レディース カットマン	伊藤 裕之	新潟市秋葉区古田1-4-11	美容院
12	株式会社加藤茶舗	小林 佳代	新潟市秋葉区新津本町2-6-26	製茶販売
13	株式会社かどや	代表取締役 荒木 政人	新潟市秋葉区新栄町11-27	酒類販売
14	カネヅカ楽器	金塚 悦夫	新潟市秋葉区荻島2-7-7	楽器店
15	株式会社カワマツ	代表取締役 川崎 貴樹	新潟市秋葉区新津字山谷南4537	食料品販売
16	株式会社きゃんばす(明治みるくる宅配センター)	代表取締役 大野 直樹	新潟市秋葉区善道町2-10-18	牛乳宅配
17	クチーナ デル・オテント	竹内 卓	新潟市秋葉区新津本町1-2-39	飲食業(イタリアレストラン)
18	コダカメラ	本間 敏靖	新潟市秋葉区新津本町2-5-31	写真スタジオ
19	五幣酒店	五幣 孝久	新潟市秋葉区吉岡町20-20	酒類販売
20	有限会社齋藤酒店	代表取締役 齋藤 博	新潟市秋葉区新津本町2-6-28	酒類販売
21	有限会社酒井商店	代表取締役 酒井 隆行	新潟市秋葉区朝日121-1	食料品・酒類販売
22	サカイ寝装	坂井 藤雄	新潟市秋葉区新町1-6-7	婦人服販売
23	サロンド・ケイ	代表取締役 稲付 恵子	新潟市秋葉区新津本町2-3-4	美容院
24	株式会社新藤	代表取締役 森 千伊子	新潟市秋葉区新津本町4-13-11	飲食業(割烹)
25	大将ラーメン	代表 山口 久夫	新潟市秋葉区新津本町2-1-16	飲食業(ラーメン店)
26	有限会社新津新聞販売センター	代表取締役 草野 満	新潟市秋葉区滝谷町3-21	新聞販売
27	有限会社野本時計店	代表取締役 野本 一郎	新潟市秋葉区新津本町3-8-4	宝飾・時計・メガネ販売
28	有限会社羽入	代表取締役 羽入 由介	新潟市秋葉区新津本町1-6-30	菓子製造・販売
29	有限会社ひつ越屋	代表取締役 齋藤 和子	新潟市秋葉区新津本町3-7-26	菓子製造・販売
30	有限会社ファッションハヤシ URBENE	林 健吾	新潟市秋葉区さつき野1-4-4	衣料品販売
31	プレヒアメディカル株式会社 リオネットセンター新津	代表取締役 小木 克朗	新潟市秋葉区新津本町2-4-18	補聴器販売
32	帆苺商店	帆苺 八重子	新潟市秋葉区日宝町1-12	米・酒・食料品販売
33	堀山厚子ダンススタジオ	代表 土屋 正也	新潟市秋葉区新津本町3-17-25	ダンス教室
34	株式会社榊形屋	代表取締役 横山 英男	新潟市秋葉区新津本町2-2-16	飲食業(割烹)
35	有限会社マルヒコ食品	代表取締役 佐藤 和雄	新潟市秋葉区善道町1-13-17	食料品販売
36	合資会社宮崎茂松商店	代表社員 宮崎 良夫	新潟市秋葉区新津本町2-1-11	建材商品販売・施工
37	有限会社ミュージックショップ フジヤ	代表取締役 志田 幸治	新潟市秋葉区新津本町2-1-7	音楽用品販売
38	合資会社やおさだ	代表社員 磯野 英一郎	新潟市秋葉区新津本町1-5-9	氷商
39	有限会社やまいし	代表 石月 勝	新潟市秋葉区新津本町3-3-28	果物販売
40	ヨシオカ時計店	小林 雅	新潟市秋葉区新町1-6-4	時計販売
41	有限会社吉田電器	代表取締役 吉田 光宏	新潟市秋葉区中野3-11-1	家庭電器販売
42	株式会社ヨネカ和悠	石澤 悠公子	新潟市秋葉区新津本町3-7-31	呉服・和装小物販売
43	わいわいボックス	代表 渡辺 嘉子	新潟市秋葉区新津本町2-1-4	飲食業(居酒屋)
44	まちの駅 ぼっぼ 新津商工会議所	会頭 古川 賢一	新潟市秋葉区新津本町2-3-12	商工会議所
45	新津商店街協同組合連合会	理事長 遠藤 龍司	新潟市秋葉区新津本町1-2-43	協同組合連合会

履修モデル①(食品技術のプロデューサー)

資料 9

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数
	1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期	
教養必修科目	英語 I (1) 1年次セミナー (1) スタートアップセミナー (2) (合計 4単位)	英語 II (1) 健康管理 (2) (合計 3単位)	英語 III (1) (合計1単位)	英語 IV (1) (合計1単位)	英語 V (1) (合計1単位)	英語 VI (1) (合計1)			11
教養選択科目	生命倫理 (2) 生物学(2) (合計4 単位)	スポーツ (1) キャリア形成実践演習※ (合計1単位)	中国語 I (1) 職業とキャリア形成 I (1) キャリア形成実践演習※ (合計2単位)	中国語 II (1) キャリア形成実践演習※ (合計1単位)	職業とキャリア形成 II (1) キャリア形成実践演習 (1)※ (合計2単位)				10
専門必修科目	基礎科学実験I(1) 地域活性化システム論(2) 学習論(2) ITリテラシー基礎(2) (合計7 単位)	基礎科学実験II(1) 地域活性化フィールドワークI (2) ITリテラシー応用(2) コンビニエンスストア論(2) 自然共生論(2) 生命産業に関わる情報システム学 (2) (合計11単位)	食品管理論(2) 歴史・風土から見た食環境(2) 中食・外食論(2) ブランド構築論(2) (合計8単位)	情報収集論(2) 産業経営管理論(2) 生命産業のビジネス論(2) 生命産業経済学(2) 食品科学概論(2) 食品開発論(2) 環境科学概論(2) 生命産業に関わる法学(2) (合計16単位)	社会調査論(2) 論理的思考論(2) 産業プロデュース論(2) レギュラトリーサイエンス(2) 産業マーケティング論(2) 地域活性化フィールドワークII (2) (合計12単位)	卒業研究, 通年	卒業研究, 通年 (10) (合計10単位)	64	
専門選択科目		1次産業論(2) コミュニケーション論(2) (合計4単位)	2次産業論(2) 3次産業論(2) 食文化論(2) 環境汚染論(2) プレゼンテーション論(2) (合計10単位)	6次産業化論(2) 生命産業情報論(2) (合計4単位)	低炭素論(2) 食品製造論(2) 環境技術論(2) (合計6単位)	産業プロジェクト管理論(2) 生命産業デザイン論(2) 情報共有論(2) 生命産業に関わるコンサルティング論(2) 知的財産論(2) リサイクル論(2) 食品香粧学(2) 健康食品論(2) (合計16単位)		40	
他学科科目									
単位数	15	19	21	22	21	17	10		

※ キャリア形成実践演習(1年次後期から3年次前期まで1単位)
カッコ内単位数

合計 125

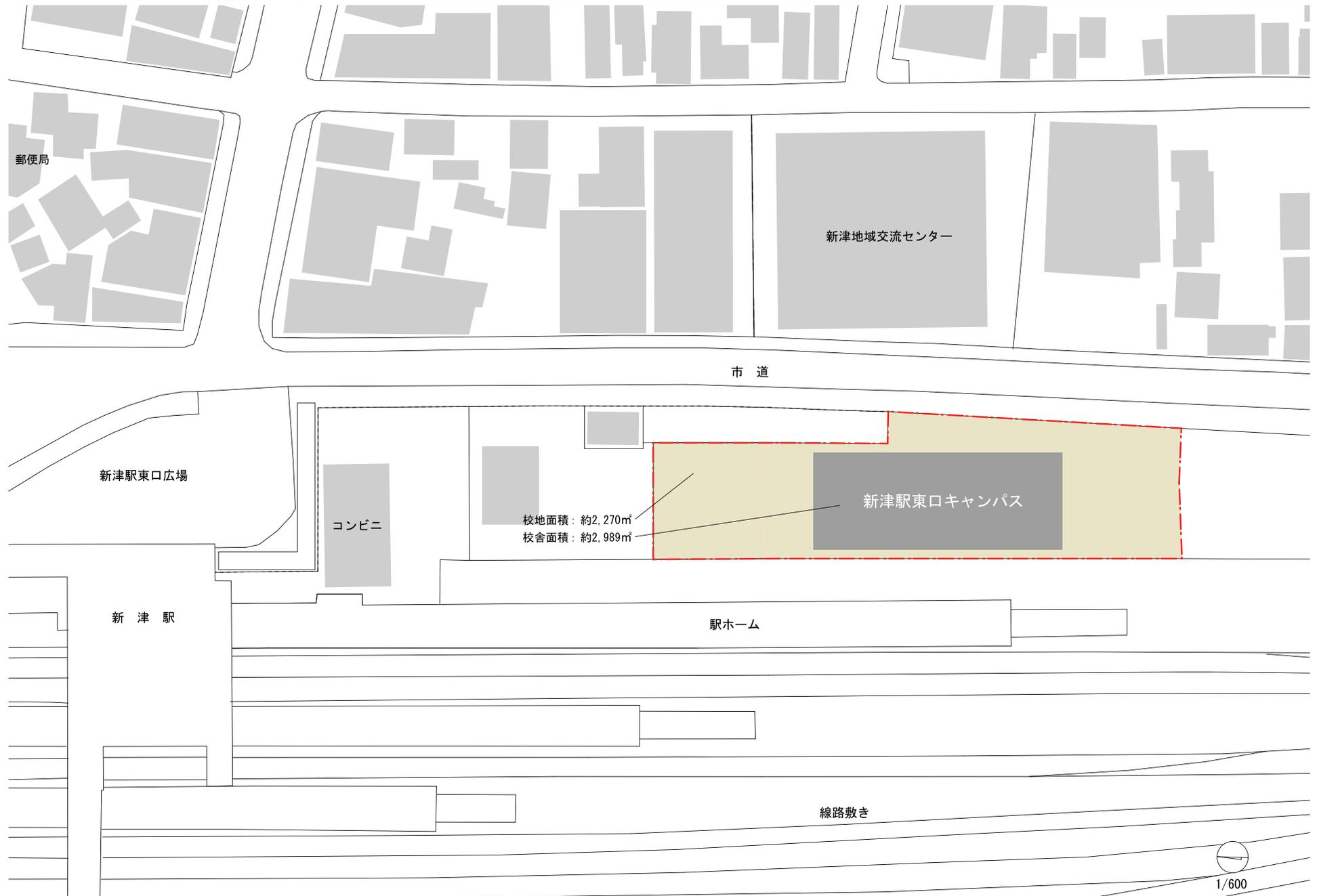
履修モデル②(環境技術のプロデューサー)

科目区分	1年次						2年次		3年次		4年次		単位数
	1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期	7学期	8学期			
教養必修科目	英語 I (1) 1年次セミナー (1) スタートアップセミナー (2) (合計 4単位)	英語 II (1) 健康管理 (2) (合計 3単位)	英語 III (1) (合計 1単位)	英語 IV (1) (合計 1単位)	英語 V (1) (合計 1単位)	英語 VI (1) (合計 1)						11	
教養選択科目	化学 (2) (合計 2 単位)	科学技術論(2) スポーツ (1) キャリア形成実践演習※ (合計 3単位)	韓国語I (1) 職業とキャリア形成 I (1) キャリア形成実践演習※ (合計 2単位)	韓国語II (1) キャリア形成実践演習※ (合計 1単位)	職業とキャリア形成 II (1) キャリア形成実践演習 (1)※ (合計 2単位)							10	
専門必修科目	基礎科学実験I(1) 地域活性化システム論(2) 学習論(2) ITリテラシー基礎(2) (合計 7 単位)	基礎科学実験II(1) 地域活性化フィールドワークI (2) IT リテラシー応用(2) コンビニエンスストア論(2) 自然共生論(2) 生命産業に関わる情報システム学 (2) (合計 11単位)	食品管理論(2) 歴史・風土から見た食環境(2) 中食・外食論(2) ブランド構築論(2) (合計 8単位)	情報収集論(2) 産業経営管理論(2) 生命産業のビジネス論(2) 生命産業経済学(2) 食品科学概論(2) 食品開発論(2) 環境科学概論(2) 生命産業に関わる法学(2) (合計 16単位)	社会調査論(2) 論理的思考論(2) 産業プロデュース論(2) レギュラトリーサイエンス(2) 産業マーケティング論(2) 地域活性化フィールドワークII (2) (合計 12単位)	卒業研究, 通年	卒業研究, 通年 (10)				(合計 10単位)	64	
専門選択科目		1次産業論(2) コミュニケーション論(2) (合計 4単位)	2次産業論(2) 3次産業論(2) 食文化論(2) 環境汚染論(2) プレゼンテーション論(2) (合計 10単位)	6次産業化論(2) 生命産業情報論(2) (合計 4単位)	低炭素論(2) 食品製造論(2) 環境技術論(2) (合計 6単位)	産業プロジェクト管理論(2) 生命産業デザイン論(2) 情報共有論(2) 生命産業に関わるコンサルティング論(2) 知的財産論(2) リサイクル論(2) 食品香粧学(2) スマートシティ論(2) (合計 16単位)						40	
他学科科目													
単位数	13	21	21	22	21	17	10						

※ キャリア形成実践演習(1年次後期から3年次前期までで1単位)
カッコ内単位数

合計 125

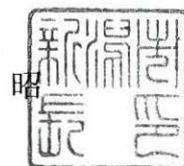
(3) - 1 校舎、運動場などの配置図【新津駅東口キャンパス】



新秋地 第 231 号
平成26年 6月12日

学校法人新潟科学技術学園 理事長
新潟薬科大学 学長
寺田 弘 様

新潟市長 篠田 昭



J R 新津駅東口市有地の売払いについて

新潟市議会 2 月定例会で平成 2 6 年度当初予算案が可決され、本市において市土地基金で保有している下記土地の一般会計での再取得に係る歳出予算（新津本町地区まちづくり事業）及び当該再取得後における貴学園への売払いを前提にした歳入予算が計上されております。

つきましては、貴学園（貴学）が計画する新学科「生命産業創造学科（仮称）」に係る設置届出による設置許可がなされた場合、本市は、必要な手続きを経た上、遅滞なく貴学園に対し下記のとおり土地の売払いを行うものとする。

記

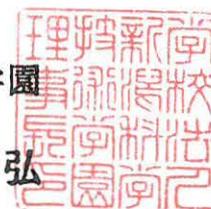
- 1 土地の表示
新潟市秋葉区新津本町 1 丁目 2019 番地 6，同 2019 番地 16，同 2019 番地 19
計 2, 277. 89 m²
- 2 売払いの予定価格（平成 2 6 年 4 月 1 日現在）
計 1 1 3, 0 0 0, 0 0 0 円
- 3 上記 2 の売払い価格については、売買契約締結時（平成 2 6 年 1 1 月予定）の時価で再査定し、決定するものとする。

この写は、原本と相違ないことを証明する。

平成26年 6 月 17 日

学校法人 新潟科学技術学園

理事長 寺 田



平成26年度(2014年度)前期時間割表

[資料12-1]

【応用生命科学部】

- 1限(09:00~10:30)
- 2限(10:40~12:10)
- 3限(13:10~14:40)
- 4限(14:50~16:20)
- 5限(16:30~18:00)

【1・2・3年次科目】

- ※:教養選択科目
- B:バイオ工学コース必修科目
- E:環境科学コース必修科目
- F:食品科学コース必修科目
- T:理科教職コース必修科目
- 選:専門選択科目

- t:教職共通必修科目
- (t):教職共通選択科目
- jt:教職中免必修科目
- ht:教職高免必修科目
- (jt):教職中免選択科目
- (ht):教職高免選択科目

- ★:食品衛生コース必修科目
- fs:フードスペシャリスト養成課程必修科目
- :自由科目(卒業要件以外の科目)
- *:理科教職コースのみ卒業要件単位となる科目

	月					火					水			木					金									
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3~5	1	2	3~5	1	2	3	4	5							
1年・1組	生物学 I (t)	化学 I t	※バイオとフードに関する経済 齋藤	スタートアップセミナー 浦上・木村・相井・川野宮	1年次セミナー 浦上・木村・相井・川野宮		生命情報科学概論 高津	※生命倫理 今泉	※スポーツ 田中義努		英語 I t 高橋一歩 (B220045)	生命情報科学演習 I t 山伊藤	実験	※歴史学 中谷	※コミュニケーション英語 I ベグリ	※物理学 鈴木・大野	※コミュニケーション英語 I ベグリ	実験	生物学 I 演習 C B B A u c c d 太 2 1 永 田 小 山 塚 (B 谷 (B 2 (B 2 0 B 3 0 5 1 0 4) 0 1) 1	化学 I 演習 C B B A u c c d 武 2 1 宮 内 田 崎 (B (B 2 (B B 0 2 2 2 5 2 0 0) 3 1 4) ()	●教職概論 t	※統計学 4 7 6 5 4 ・ / / / / 5 4 2 1 1 限・ 0 6 8 連 7 . . . 続 / 5 4 講 1 / / 義 8 2 2 3 5 6 / 6 .	※統計学					
1年・2組	C B B A u c c d 太 2 1 永 田 小 山 塚 (B 谷 (B 2 (B 2 0 B 3 0 5 1 0 4) 0 1) 1	C B A u c d 宮 田 新 崎 中 井 達 (B B (B 2 3 0 2 0 0 2 1) () 1		浦上・木村・相井・川野宮	浦上・木村・相井・川野宮		高津	今泉	田中義努	田中義努	山伊藤	高橋一歩 (B220045)	山伊藤		中谷	ベグリ	鈴木・大野	ベグリ	C B B A u c c d 太 2 1 永 田 小 山 塚 (B 谷 (B 2 (B 2 0 B 3 0 5 2 0 4) 0 1) 3	C B B A u c c d 武 2 1 宮 内 田 崎 (B (B 2 (B B 0 2 2 2 2 0 0 0) 3 1 4) ()	木村哲	村瀬	村瀬					
2年・1組	無機化学 (t)	※上級リーディング英語 宮崎一	※中国語 I 梁	※韓国語 I 権	演習有機化学 I C A d B c 小 島 勝 中 村 (B 2 0 3 0 1)	英語 III 高橋一歩 (B20304)	細胞生物学 (t)	環境科学 I 小川瀬田	●教育方法論 木村哲	微生物科学 (t)	物理化学 (t)	*理科教育法 I 鈴木	有機化学 I (t)	生化学 I (t)	実験	分析化学 (t)	生物工学 高重久松	実験	生物有機化学 (t)	※ドイツ語 I 小林	食品化学 3 (5 4 ・ 4 / / 1 1 5 限 2 3 6 / 1 3 連続休息講義	食品化学 (t)	※職業とキャリア形成 I 重高久					
2年・2組	新井	宮崎一	梁	権	英語 III 高橋一歩 (B20304)	梨本	小川瀬田	木村哲	高久	佐藤	鈴木	C A d B c 小 島 勝 中 村 (B 1 2 0 3 0 1)	C A d B c 高 久 市 川 (B 2 2 0 1)	田辺	高重久松	田辺	高重久松	田辺	高重久松	小林	鈴木	鈴木	鈴木	高重久松				
3年	環境修復論 E 井中村	食品製造学 F 重松	※TOEIC英語 II 若杉	動物バイオテクノロジー B 市川	生体機能学 選 西田	*教育原論 T t 木村政	応用生命科学特別講義 高久他	細胞免疫学 B 浦上	発酵醸造学 F 小重松 (選)	栄養生理学 F 門西 佐藤 藤	*特別活動の指導 T t 橋本	実験(3~5限)	食品微生物学 F 小浦上谷	微生物バイオテクノロジー B E 高久	*理科教育法 III T t 鈴木	フードコーディネータ論 選 fs 小島富	有機合成化学 B E 田中宮村	機能食品科学 F fs 西田	生体分子認識科学 選 石黒	環境保全学 選 小川瀬田	実験(3~5限)	公衆衛生学 選★ 宮西	廃棄物管理工学 選 井小瀬	化学工業とグリーンケミストリー E 小井山石 島口崎黒	植物環境学 選 田中	バイオインフォマティクス B E 古梨谷本	フードスペシャリスト論 選 fs 倉田	食品加工・保蔵学 選 fs 倉重田松
4年	卒業研究																											

集中講義

2年	●教育相談の理論と方法	t	小堀	B205
3年	食品商品学	選 fs	服部	B103・B102
	*教職演習 II	T	太田・新井・鈴木・木村	B203
	教育課程論	T t	阿部	B205

別途開講

1年	●学習支援実地演習 I	(t)	木村哲
	研究室探訪	※	高久 他
2年	●学習支援実地演習 II	(t)	木村哲
3年	●学習支援実地演習 III	(t)	鈴木
4年	●教育実習事前事後実習	(t)	鈴木・木村哲
	●教育実習 I	(t)	鈴木・木村哲
	●教育実習 II	(t)	鈴木・木村哲

再履修者用

1年	一次産業と社会・生活	B・F	川田・田中
	ドライラボ I - 生命科学とコンピュータ(相井担当)	B・F	相井
	無機化学演習	B・F	新井

平成26年度(2014年度)後期時間割表

【応用生命科学部】

【1・2・3年次科目】

※:教養選択科目
 B:バイオ工学コース必修科目
 E:環境科学コース必修科目
 F:食品科学コース必修科目
 T:理科教職コース必修科目
 選:専門選択科目

t:教職共通必修科目
 (t):教職共通選択科目
 jt:教職中免必修科目
 ht:教職高免必修科目
 (jt):教職中免選択科目
 (ht):教職高免選択科目

★:食品衛生コース必修科目
 fs:フーズスペシャリスト養成課程必修科目
 ●:自由科目(卒業要件以外の科目)
 *:理科教職コースのみ卒業要件単位となる科目

1限(09:00~10:30)
 2限(10:40~12:10)
 3限(13:10~14:40)
 4限(14:50~16:20)
 5限(16:30~18:00)

	月					火			水			木			金						
	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3-5	1	2	3-5	1	2	3	4			
1年・1組	※法学 t	※科学技術論	物理化学 (t)	生物学Ⅱ演習 C B B A u c c d 太 2 1 川 田 相 伊 (B (B 1 0 1 2 0 1 0 0 2) 4 1)	※地学 t	化学Ⅱ t	生物学Ⅱ (t)	健康管理 t	生命情報科学演習Ⅱ t 永宮 塚崎・ 川小 野長 谷	英語Ⅱ t 高宮 橋一 B B 2 2 0 0 5 4	実験	●教育制度・行政 t	※コミュニケーション英語Ⅱ t	※コミュニケーション英語Ⅱ t	実験	環境科学Ⅰ 小川 瀬田	化学Ⅱ演習 C B B A u c c d 武 2 1 中 内 田 新 村 (B (B B 1 1 B B 2 0 2 2 0 2 0 0 4) 3 1)	※基礎数学 本多			
	里見	井山	佐藤	河内	河内	C B A u c d 石 新 中 黒 井 村 (B (B B 2 2 2 0 0 0 5 3 4) ()	C B B A u c c d 太 2 1 川 田 相 伊 (B (B 1 0 1 2 0 1 0 0 2) 4 1)	高橋努	英語Ⅱ t 高宮 橋一 B B 2 2 0 0 5 4	生命情報科学演習Ⅱ t 永宮 塚崎・ 川小 野長 谷	吉田	ベグリー	ベグリー	小川瀬田							
1年・2組	B201	B201	B201		B201			B201		A101		B205	B204	B204	B202		B301				
2年	機器分析学 重松井	分子生物学 (t) 梨本	英語Ⅳ 若杉	※TOEIC英語Ⅰ 若杉	※中国語Ⅱ 梁	※韓国語Ⅱ 権	環境科学Ⅱ E 小川 瀬田	植物バイオテクノロジー B 田中	実験(3/5限) B 太田	機能形態学 E 高久村	生化学Ⅱ (t) C A d u B b c 重 松 市 川 松 井 川 (B 2 0 1 2)	実験 T t 中村恵	*教育心理学 E 小川 瀬田	食品分析学 F fs 佐藤	実験 (t) 石黒	有機化学Ⅱ 小林	※ドイツ語Ⅱ 鈴木	*理科教育法Ⅱ 倉田・西田	栄養科学 F fs 佐藤・西田	植物生理学 B 田中・相井	食料・食品資源学 選 fs 倉重 田・平 山
	B202	B202	B203	B205	B204		B202	B202	B202	B201		B203	B205	B202	B202	B205	B103	B202	B201	B202	
3年	調理科学 選 fs 玉木	食品安全学 選 fs ★ 小浦 長上 谷					食中毒疫学 選 小浦 長上 谷	●理科教育法Ⅳ (t) 鈴木	分子構造解析学 選 田宮 崎達	調理科学実習Ⅰ・Ⅱ 選 fs 遠藤	*生徒・進路指導の理 論と方法 選 t 木村 哲	植物育種学 選 相井	調理科学実習Ⅰ・Ⅱ 選 fs 遠藤	質工学 選 島村 (集 中)	構造生物学とタンパク 質工学 選 石黒・伊 藤	調理科学実習Ⅰ・Ⅱ 選 fs 遠藤	生物学 選 t 太田	環境分析化学 選 小川 瀬田		食品流通学 選 fs 佐田	
	B205	B303				B201	B103	B103		B102	B203		B203		B202	B104	B205				
4年	卒業研究																				

⑨:定員25名につき、受講者はフーズスペシャリスト養成課程履修者に限定します。

集中講義

1年	バイオとフードに関する法律	※	清水	B205
1年	バイオとフードを巡る国際関係論	※	堀・木南	B205
2年	食品酵素化学	F	鯉坂	B202
3年	構造生物学とタンパク質工学	選	島村	B203
3年	食品品質評価学	選 fs	相島	B101
3年	*道徳教育の指導法	選 jt (ht)	中野	B203

別途開講

1年	キャリア形成実践演習	※	重松・高久・木村哲
1年	キャリアアップセミナー	※	高久他
2年	*教職演習Ⅰ	T	太田・新井・鈴木・木村哲
2年	*教育実地体験	選(t)	鈴木
3年	職業とキャリア形成Ⅱ	※	重松・高久
3年	科学技術英語		研究室教員
4年	教職実践演習(中・高)	t	鈴木・木村哲

平成26年度薬学部前期時間割表

[資料12-2]

1・2・3年生 前期前半:4月9日(水)～5月23日(金)
 前期後半:5月26日(月)～7月4日(金)

4年生 前期前半:4月9日(水)～5月16日(金)
 6年生 前期:4月9日(水)～

- 土曜日についても、授業等が実施されることがあります。
- 時間割にない科目は、今年度は原則として開講しません。
- 応用生命科学部開講科目は、応用生命科学部の時間割で日程を確認して履修してください。詳細は教務課に相談してください。

【Q前は前期前半科目 Q後は前期後半科目 ※は選択科目】

			1限 (9:00～10:30)			2限 (10:40～12:10)			3限 (13:10～14:40)			4限 (14:50～16:20)			5限 (16:30～18:00)			
			科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	
月	1年	A	Q前:※薬学の基礎生物(生物学Ⅰ) Q後:体の構造と機能Ⅰ(機能形態学Ⅰ)	白崎 尾崎・白崎	B104	英語リスニングⅠ(英語Ⅰ) 英語リーディングⅠ(英語Ⅱ)	仲川 武久	B102 B103	体育実技Ⅰ	高橋・田中	体育館	(自由科目)基礎化学演習	星名 本澤	B102 B105				
		B	英語リスニングⅠ(英語Ⅰ) 英語リーディングⅠ(英語Ⅱ)	仲川 武久	B102 B103	体育実技Ⅰ	高橋・田中	体育館	Q前:※薬学の基礎生物(生物学Ⅰ) Q後:体の構造と機能Ⅰ(機能形態学Ⅰ)	白崎 尾崎・白崎	B104							
	2年	AB	症候と疾患(疾病と症状)	若林	HB101	Q前:物質濃度の測定(定量分析化学) Q後:物質の分離と定量Ⅰ(薬品分析学Ⅰ)	大和・中川 大和	HB101	※外国語AI(英語Ⅴ) ※外国語BⅠ(ドイツ語Ⅰ) ※外国語CⅠ(中国語Ⅰ)	武久 吉田 梁	B103 B102 B205	※人文社会B(社会学) Q前:※人文社会F(マス・メディア論)	阿部(春) 吉田	B201 B101	※人文社会A(歴史学) Q前:※人文社会F(マス・メディア論)	井山 吉田	B105 B101	
		A	薬理作用と副作用Ⅲ(薬理学・毒性学Ⅲ)	高中	B105	有機分子の構造決定(分子構造解析学)	高津	B302	有害物質と生体(衛生化学Ⅱ)	安藤	B105	※人文社会D(経済学)	齋藤 武久	HB101 B103				
	3年	B	有害物質と生体(衛生化学Ⅱ)	安藤	B302	薬理作用と副作用Ⅲ(薬理学・毒性学Ⅲ)	高中	B105	有機分子の構造決定(分子構造解析学)	高津	B302	※人文社会E(言語学)						
		4年	AB	Q前:医薬品のコアとパーツⅡ(メディシナルケミストリーⅡ)	北川	B303	Q前:医薬品のコアとパーツⅡ(メディシナルケミストリーⅡ)	北川	B303	卒業研究Ⅰ			Q前:※人文社会F(マス・メディア論)	吉田	B101	Q前:※人文社会F(マス・メディア論)	吉田	B101
6年	AB	「卒業研究Ⅱ」/「薬学総括演習Ⅱ」(別途日程発表表) (注)「病態と処方Ⅰ～Ⅴ」、「症例と薬物治療Ⅰ～Ⅴ」、「物理化学から見た薬」、「有機化学から見た薬」、「生命体と薬」、「予防薬学と社会薬学」、「最新薬理学」、「最新薬剤学」、「副作用・相互作用」、「薬剤師と法律と制度Ⅱ」の開講日程は実習系科目・集中講義科目日程表を参照すること。										※人文社会B(社会学) ※人文社会E(言語学) ※人文社会D(経済学) Q前:※人文社会F(マス・メディア論)	阿部(春) 武久 齋藤 吉田	B201 B103 HB101 B101	※人文社会A(歴史学) Q前:※人文社会F(マス・メディア論)	井山 吉田	B105 B101	
火	1年	A	細胞の構造と機能(生物学Ⅱ)	中村・山口	B302	Q前:※基礎微積分 Q後:微積分	本多	B301	(自由科目)基礎生物演習	白崎	B302	(自由科目)基礎数学演習	本多	B301				
		B	Q前:※基礎微積分 Q後:微積分	本多	B301	細胞の構造と機能(生物学Ⅱ)	中村・山口	B302										
	2年	A	平衡の理論(薬品物理化学Ⅰ)	星名	B104	生体分子の解析	田辺	B101				実習・演習						
		B	生体分子の解析	田辺	B101	平衡の理論(薬品物理化学Ⅰ)	星名	B104				実習・演習						
3年	AB	疾病の成り立ち(病理学)	山際	B303	※香粧品の科学	飯村	B303				実習・演習							
4年	AB	Q前:※医薬品の開発と試験	影向・河田・坂爪	B204	Q前:※医薬品の開発と試験	影向・河田・坂爪	B204	Q前:※食品衛生	皆川他	B105	Q前:※食品衛生	皆川他	B105	卒業研究Ⅰ				
水	1年	A	Q前:原子や分子の構造(基礎化学) Q後:有機分子の構造Ⅰ(有機化学Ⅰ)	星名 本澤	B302	Q前:※薬学の基礎生物(生物学Ⅰ) Q後:体の構造と機能Ⅰ(機能形態学Ⅰ)	白崎 尾崎・白崎	B301	保健体育理論	高橋(努)	HB101			実習・演習				
		B	Q前:※薬学の基礎生物(生物学Ⅰ) Q後:体の構造と機能Ⅰ(機能形態学Ⅰ)	白崎 尾崎・白崎	B301	Q前:原子や分子の構造(基礎化学) Q後:有機分子の構造Ⅰ(有機化学Ⅰ)	星名 本澤	B302						実習・演習				
	2年	A	疾患と薬学(薬学入門)	青木・高中	B101	感染症と微生物Ⅱ(微生物学Ⅱ)	中村・山口	B104				実習・演習						
		B	感染症と微生物Ⅱ(微生物学Ⅱ)	中村・山口	B104	疾患と薬学(薬学入門)	青木・高中	B101				実習・演習						
3年	AB	Q前:分析技術の臨床応用(臨床化学Ⅰ) Q後:症候と臨床検査値(臨床化学Ⅱ)	大和・中川	HB101	栄養と健康(衛生化学Ⅰ)	皆川	HB101				実習・演習							
4年	AB	Q前:メディカル・スタッフの役割	朝倉・阿部・齊藤	B105	Q前:メディカル・スタッフの役割	朝倉・阿部・齊藤	B105	Q前:薬剤師と法律・制度Ⅰ(薬事関係法規・制度)	藤原	B105	Q前:薬剤師と法律・制度Ⅰ(薬事関係法規・制度)	藤原	B105	卒業研究Ⅰ				
木	1年	A	英語リスニングⅠ(英語Ⅰ) 英語リーディングⅠ(英語Ⅱ)	宮崎 武久	B102 B103	Q前:※基礎微積分 Q後:微積分	本多	B301	(自由科目)基礎物理演習	大野	B101			実習・演習				
		B	Q前:※基礎微積分 Q後:微積分	本多	B301	英語リスニングⅠ(英語Ⅰ) 英語リーディングⅠ(英語Ⅱ)	宮崎 武久	B102 B103						実習・演習				
	2年	A	生命情報と遺伝子(分子生物学Ⅰ)	宮本・小宮山	B101	官能基の性質Ⅰ(薬化学Ⅰ)	杉原	B104				実習・演習						
		B	官能基の性質Ⅰ(薬化学Ⅰ)	杉原	B104	生命情報と遺伝子(分子生物学Ⅰ)	宮本・小宮山	B101				実習・演習						
	3年	A	薬理作用と副作用Ⅱ(薬理学・毒性学Ⅱ)	尾崎・前田	B302	生体分子のコアとパーツ(生物有機化学)	浅田	B105				実習・演習						
		B	生体分子のコアとパーツ(生物有機化学)	浅田	B105	薬理作用と副作用Ⅱ(薬理学・毒性学Ⅱ)	尾崎・前田	B302				実習・演習						
4年	AB	Q前:患者個々の薬物治療(臨床薬物動態学)	上野・福本	B303	Q前:患者個々の薬物治療(臨床薬物動態学)	上野・福本	B303	Q前:※漢方医学の基礎(漢方概論)	渋谷・佐久間	B204	Q前:※漢方医学の基礎(漢方概論)	渋谷・佐久間	B204	卒業研究Ⅰ				
6年	AB	「卒業研究Ⅱ」/「薬学総括演習Ⅱ」 「病態と処方Ⅰ～Ⅴ」、「症例と薬物治療Ⅰ～Ⅴ」、「物理化学から見た薬」、「有機化学から見た薬」、「生命体と薬」、「予防薬学と社会薬学」、「最新薬理学」、「最新薬剤学」、「副作用・相互作用」、「薬剤師と法律と制度Ⅱ」の開講日程は別途指示する。																
金	1年	A	Q前:原子や分子の構造(基礎化学) Q後:有機分子の構造Ⅰ(有機化学Ⅰ)	星名 本澤	B302	自然が生み出す薬物Ⅰ(薬用植物学)	渋谷・白崎	B105	薬学の基礎物理(物理学)	島倉・大野	B301			実習・演習				
		B	薬学の基礎物理(物理学)	島倉・大野	B105	Q前:原子や分子の構造(基礎化学) Q後:有機分子の構造Ⅰ(有機化学Ⅰ)	星名 本澤	B302	自然が生み出す薬物Ⅰ(薬用植物学)	渋谷・白崎	B105			実習・演習				
	2年	A	生命活動とタンパク質(生化学Ⅱ)	小室・小宮山	B104	薬の効くプロセス(薬理学・薬物動態学序論)	尾崎・前田	B101				実習・演習						
		B	薬の効くプロセス(薬理学・薬物動態学序論)	尾崎・前田	B101	生命活動とタンパク質(生化学Ⅱ)	小室・小宮山	B104				実習・演習						
3年	A	Q前:分析技術の臨床応用(臨床化学Ⅰ) Q後:症候と臨床検査値(臨床化学Ⅱ)	大和・中川	HB101	薬物の体内動態(薬物動態学Ⅰ)	久保田	HB101	生体の情報伝達(生化学)	小室・高中	B302	疾患と薬物治療Ⅰ(薬物治療学Ⅰ)	渡邊他	B104	※薬学英語Ⅱ	福原他	B102		
	B	Q前:分析技術の臨床応用(臨床化学Ⅰ) Q後:症候と臨床検査値(臨床化学Ⅱ)	大和・中川	HB101	薬物の体内動態(薬物動態学Ⅰ)	久保田	HB101	疾患と薬物治療Ⅰ(薬物治療学Ⅰ)	渡邊他	B104	生体の情報伝達(生化学)	小室・高中	B302					
4年	AB	Q前:※薬学の生命科学(生命の科学)	中村他	B301	Q前:※薬学の生命科学(生命の科学)	中村他	B301				卒業研究Ⅰ							
月～金	5年	AB	臨床実務実習/卒業研究Ⅱ															
火～金	6年	AB	「卒業研究Ⅱ」/「薬学総括演習Ⅱ」(別途日程発表表) 集中講義「病態と処方Ⅰ～Ⅴ」、「症例と薬物治療Ⅰ～Ⅴ」、「物理化学から見た薬」、「有機化学から見た薬」、「生命体と薬」、「予防薬学と社会薬学」、「最新薬理学」、「最新薬剤学」、「副作用・相互作用」、「薬剤師と法律と制度Ⅱ」。開講日程は実習系科目・集中講義科目日程表参照)															

平成26年度薬学部後期時間割表

1・2年生 後期前半:9月16日(火)～11月6日(木)
 後期後半:10月29日(水)～12月15日(月)
 <注意> 曜日により、前期終了日及び後半開始日が異なります。

3年生 後期:9月16日(火)～
 4・6年生 後期:9月8日(月)～

●土曜日についても、授業等が実施されることがあります。
 ●時間割にない科目は、今年度は原則として開講しません。
 ●応用生命科学部開講科目(＃)は、応用生命科学部の時間割で日程を確認して履修してください。詳細は教務課に相談してください。

【Q前は前期前半科目 Q後は前期後半科目 ※は選択科目】

			1限 (9:00～10:30)			2限 (10:40～12:10)			3限 (13:10～14:40)			4限 (14:50～16:20)			5限 (16:30～18:00)		
			科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室	科目名	担当教員	講義室
月 曜	1年	A	体の構造と機能Ⅱ(機能形態学Ⅱ)	尾崎・白崎	B104	英語リスニングⅡ(英語Ⅲ)	仲川	B102	体育実技Ⅱ	高橋・田中	体育館						
		B	英語リスニングⅡ(英語Ⅲ)	仲川	B102	英語リーディングⅡ(英語Ⅳ)	武久	B103				体の構造と機能Ⅱ(機能形態学Ⅱ)	尾崎・白崎	B104			
	2年	A	反応速度論(薬品物理化学Ⅱ)	飯村	B302	反応速度論(薬品物理化学Ⅱ)	飯村	B302	※外国語AⅡ(英語Ⅵ) ※外国語BⅡ(ドイツ語Ⅱ) ※外国語CⅡ(中国語Ⅱ)	武久 吉田 梁	B103 B102 B205	※人文社会C(哲学)	長岡	B103	※人文社会C(哲学)	長岡	B103
		B															
	3年	A	処方せんと調剤Ⅱ(臨床薬剤治療学)	若林	B301	目的化合物をつくる(合成化学)	藤原	B105	化学物質と毒性(衛生化学Ⅲ)	皆川	B303						
		B	目的化合物をつくる(合成化学)	藤原	B105	処方せんと調剤Ⅱ(臨床薬剤治療学)	若林	B301									
火 曜	1年	A	感染症と微生物Ⅰ(微生物学Ⅰ)	中村	B302	Q前:※基礎統計解析 Q後:統計解析	本多	B301				実習・演習					
		B	Q前:※基礎統計解析 Q後:統計解析	本多	B301	感染症と微生物Ⅰ(微生物学Ⅰ)	中村	B302				実習・演習					
	2年	A	自然が生み出す薬物Ⅱ(生薬学)	渋谷	B104	生命活動のしくみ(生化学Ⅲ)	宮本・小宮山	B101				実習・演習					
		B	生命活動のしくみ(生化学Ⅲ)	宮本・小宮山	B101	自然が生み出す薬物Ⅱ(生薬学)	渋谷	B104				実習・演習					
	3年	A	薬物動態の解析(薬物動態学Ⅱ)	久保田	B105	※薬物動態演習	久保田	B105				実習・演習					
		B										実習・演習					
水 曜	1年	A	物質の構造と状態(基礎物理化学)	大野・島倉	B101	細胞を構成する分子(生化学Ⅰ)	小室	B104				実習・演習					
		B	細胞を構成する分子(生化学Ⅰ)	小室	B104	物質の構造と状態(基礎物理化学)	大野・島倉	B101				実習・演習					
	2年	A	遺伝子を操作する(分子生物学Ⅱ)	福原	B301	Q前:物質の分離と定量Ⅱ(薬品分析学Ⅱ) Q後:医療人としての心構え(倫理とコミュニケーションⅡ)	大和 河野・影向・朝倉	B302				実習・演習					
		B	Q前:物質の分離と定量Ⅱ(薬品分析学Ⅱ) Q後:医療人としての心構え(倫理とコミュニケーションⅡ)	大和 河野・影向・朝倉	B302	遺伝子を操作する(分子生物学Ⅱ)	福原	B301				実習・演習					
	3年	A	医薬品のコアとパーツⅠ(メディシナルケミストリーⅠ)	北川	B303	生活環境と健康(衛生化学Ⅳ)	安藤	B105				実習・演習					
		B	生活環境と健康(衛生化学Ⅳ)	安藤	B105	医薬品のコアとパーツⅠ(メディシナルケミストリーⅠ)	北川	B303				実習・演習					
木 曜	1年	A	英語リスニングⅡ(英語Ⅲ)	宮崎	B102	Q前:※基礎統計解析	本多	B301				実習・演習					
		B	英語リーディングⅡ(英語Ⅳ)	武久	B103	Q後:統計解析			英語リスニングⅡ(英語Ⅲ)	宮崎	B102				実習・演習		
	2年	A	薬理作用と副作用Ⅰ(薬理学・毒性学Ⅰ)	尾崎・前田	B101	官能基の性質Ⅱ(薬化学Ⅱ)	杉原	B104				実習・演習					
		B	官能基の性質Ⅱ(薬化学Ⅱ)	杉原	B104	薬理作用と副作用Ⅰ(薬理学・毒性学Ⅰ)	尾崎・前田	B101				実習・演習					
	3年	A	医薬品情報と患者(医薬品情報学)	上野・福本	B105	薬理作用と副作用Ⅳ(薬理学・毒性学Ⅳ)	長友	B302				実習・演習					
		B	薬理作用と副作用Ⅳ(薬理学・毒性学Ⅳ)	長友	B302	医薬品情報と患者(医薬品情報学)	上野・福本	B105				実習・演習					
金 曜	1年	A	有機分子の構造Ⅱ(有機化学Ⅱ)	本澤	B104	化学平衡	田辺	B301				実習・演習					
		B	化学平衡	田辺	B301	有機分子の構造Ⅱ(有機化学Ⅱ)	本澤	B104				実習・演習					
	2年	A	製剤の基礎(製剤学Ⅰ)	飯村	B101	社会・集団と健康(公衆衛生学)	酒巻	B303				実習・演習					
		B	社会・集団と健康(公衆衛生学)	酒巻	B303	製剤の基礎(製剤学Ⅰ)	飯村	B101				実習・演習					
	3年	A	処方せんと調剤Ⅰ(臨床薬剤学)	河野	B105	生体の防御(免疫学)	福原	B302				実習					
		B	生体の防御(免疫学)	福原	B302	処方せんと調剤Ⅰ(臨床薬剤学)	河野	B105				集中講義(「疾患と薬物治療Ⅱ(薬物治療学Ⅱ)」、「医薬品の開発(新薬論・一般薬)」、「患者との信頼関係(倫理とコミュニケーションⅢ)」)日程別途指示					
月 金	4年	AB				薬学総括演習Ⅰ			CB201	(別途日程発表)							
	5年	AB							臨床実務実習 / 卒業研究Ⅱ								
	6年	AB				薬学総括演習Ⅱ			J201	(別途日程発表)							

1限(9:00~10:30) 2限(10:40~12:10) 3限(13:10~14:40) 4限(14:50~16:20) 5限(16:30~18:00)

	講B-101	講B-102	講B-103	講B-104	講B-105	講B-201	講B-202	講B-203	講B-204	講B-205	講B-301	講B-302	講B-303	大講J-201	講HB-101	体育館
	174	84	84	120	192	174	174	84	84	84	174	174	216	366	216	
月	1 応①生物学 I Bc2 (小長谷)	薬①英語リスニング I B	薬①英語リーディング I B	薬①薬学の基礎生物 A	薬③薬理作用と副作用 III A	応③食品製造学	応②無機化学	応③環境修復論	応①生物学 I AD (永塚)	応①生物学 I CU (太田)	応①生物学 I Bc1 (山崎)	薬③有害物質と生体 B	薬④医薬品のコアとパーツ II		薬②症状と疾患 AB	
	2	薬①英語リスニング I A	薬①英語リーディング I A	応②上級リーディング英語	薬③薬理作用と副作用 III B	応①化学 I Ad(宮崎)	応①化学 I Cu(田中)	応③TOEIC英語 II	応②韓国語 I	応②中国語 I	応①化学 I Bc(新井)	薬③有機分子の構造決定 A	薬④医薬品のコアとパーツ II		薬②物質濃度の測定	薬①体育実技 I B
	3	薬②ドイツ語 I	薬②英語 V	薬①薬学の基礎生物 B	薬③有害物質と生体 A	応③動物バイオテクノロジー	応②有機化学 I 演習 1Cu(小島)	応②英語 III(若杉) 2	応②英語 III(高橋) 2	薬②中国語 I	応②有機化学 I 演習 1AdBc(中村)	薬③有機分子の構造決定 B		応①バイオとフードに関する経済	薬①体育実技 I A	
	4	薬②④⑥マス・メディア論	薬①基礎化学演習(星名)	薬③⑥言語学		薬①基礎化学演習(本澤)	薬②⑥社会学	応②有機化学 I 演習 2Bc(小島)	応②英語 III(若杉) 1	応②英語 III(高橋) 1	応③教育原論	応②有機化学 I 演習 2AdBc(中村)	応③生体機能学	応①スタートアップセミナー	薬③⑥経済学	
	5	薬②④⑥マス・メディア論				薬②⑥歴史学	応②細胞生物学	応③応用生命科学特別講義						応①1年次セミナー		
火	1 薬②生体分子の解析B			薬②平衡の理論 A			応②環境科学 I	応③発酵醸造学	薬④医薬品の開発と治験	応③細胞免疫学	薬①基礎微積分 B	薬①細胞の構造と機能 A	薬③疾病の成り立ち			
	2 薬②生体分子の解析A	動物細胞工学特論	応③特別活動の指導	薬②平衡の理論 B		応③栄養生理学			薬④医薬品の開発と治験	応②教育方法論	薬①基礎微積分 A	薬①細胞の構造と機能B	薬③香粧品の科学		応①生命情報科学概論	
	3				薬④食品衛生	応①生命倫理		応③教職演習	栄養生化学特論			薬①基礎生物演習				
	4				薬④食品衛生		応②物理化学				薬①基礎数学演習					応①スポーツ 1
	5									応②理科教育法	薬①基礎数学演習					応①スポーツ 2
水	1 薬②疾患と薬学 A		応②有機化学Cu(小島)	薬②感染症と微生物学B	薬④メディカル・スタッフの役割	応②有機化学 AdBc(中村)	応③食品微生物学	応③微生物バイオテクノロジー	応①英語 I(宮崎) 1	応①英語 I(高橋) 1	薬①薬学の基礎生物 B	薬①原子や分子の構造 A			薬③分析技術の臨床応用	
	2 薬②疾患と薬学 B	応③理科教育法 III	分子科学特論	薬②感染症と微生物学A	薬④メディカル・スタッフの役割	応②生化学 I AdBc(市川)	応②生化学 I Cu(高久)	応③フードコーディネータ論	応①英語 I(宮崎) 2	応①英語 I(高橋) 2	薬①薬学の基礎生物 A	薬①原子や分子の構造 B			薬③栄養と健康 B	
	3				薬④薬剤師と法律・制度 I			応③教職演習							薬①保健体育理論	
	4				薬④薬剤師と法律・制度 I									薬①薬学への招待 II(尾崎)		
	5													薬①薬学への招待 II(酒巻)		
木	1 薬②生命情報と遺伝子 A	薬①英語リスニング I A	薬①英語リーディング I A	薬②官能基の性質 I B	薬③生体分子のコアとパーツ B	応③有機合成化学	応②分析化学	応①歴史学	応①コミュニケーション英語 I	応③機能食品科学	薬①基礎微積分 B	薬③薬理作用と副作用 II A	薬④患者個々の薬物治療	薬⑥キャリアガイダンス、企業控室 学生課		
	2 薬②生命情報と遺伝子 B	薬①英語リスニング I B	薬①英語リーディング I B	薬②官能基の性質 I A	薬③生体分子のコアとパーツ A	応③環境保全学	応②生物工学	応③生体分子認識科学	応①コミュニケーション英語 I		薬①基礎微積分 A	薬③薬理作用と副作用 II B			応①物理学	
	3 薬①基礎物理演習						薬④漢方医学の基礎	応③教職演習								
	4						薬④漢方医学の基礎							薬①薬学への招待 II(杉原)		
	5													薬①薬学への招待 II(影向)		
金	1 薬②薬の効くプロセス B	応③廃棄物管理工学	応③公衆衛生学	薬②生命活動とタンパク質 A	薬①薬学の基礎物理 B	応①生物学 I 演習 Bc1(山崎)	応②生物有機化学	応①生物学 I 演習 Bc2(小長谷)	応①生物学 I 演習 Ad(永塚)	応①生物学 I 演習 Cu(太田)	薬④薬学の生命科学	薬①原子や分子の構造 A		薬⑥キャリアガイダンス、企業控室 学生課	薬③分析技術の臨床応用 A	
	2 薬②薬の効くプロセス A	応③植物環境学	応③化学工業とグリーンケミストリー	薬②生命活動とタンパク質 B	薬①自然が生み出す薬物 I A	応①化学 I 演習 Bc1(新井)	応①化学 I 演習 Cu(武内)	応①化学 I 演習 Bc2(田宮)	応①化学 I 演習 Ad(宮崎)	応②独語 I	薬④薬学の生命科学	薬①原子や分子の構造 B			薬③薬物の体内動態	
	3		応③フードスペシャリスト論	薬③疾患と薬物治療 I B	薬①自然が生み出す薬物 I B				応①教職概論		薬①薬学の基礎物理 A	薬③生体の情報伝達 A				
	4		応③食品加工・保蔵学	薬③疾患と薬物治療 I A			応②食品化学					薬③生体の情報伝達 B				
	5 応③就職ガイダンス	薬③薬学英語 II				応①統計学			応②職業とキャリア形成 I							

平成26年度講義室使用状況一覧表(後期)

1限(9:00~10:30) 2限(10:40~12:10) 3限(13:10~14:40) 4限(14:50~16:20) 5限(16:30~18:00)

	講B-101 174	講B-102 84	講B-103 84	講B-104 120	講B-105 192	講B-201 174	講B-202 174	講B-203 84	講B-204 84	講B-205 84	講B-301 174	講B-302 174	講B-303 216	大講J-201 366	講HB-101 216	体育館	
月		薬①英語リスニングⅡB	薬①英語リーディングⅡB	薬①体の構造と機能ⅡA	薬③目的化合物をつくるA	応①法学	応②機器分析学	植物分子細胞学特論		応③調理科学	薬③処方せんと調剤ⅡA	薬②反応速度論A		薬⑥薬学総括演習Ⅱ			
2		薬①英語リスニングⅡA	薬①英語リーディングⅡA		薬③目的化合物をつくるB	応①科学技術論	応②分子生物学				薬③処方せんと調剤ⅡB	薬②反応速度論B	応③食品安全学				応①体育実技ⅡB
3		薬②ドイツ語Ⅱ	薬②英語Ⅵ	薬①体の構造と機能ⅡB		応①物理化学	応②英語Ⅳ(高橋)	応②英語Ⅳ(若杉)	応②英語Ⅳ(宮崎)	薬②中国語Ⅱ			薬③化学物質と毒性				応①体育実技ⅡA
4	応①生物学Ⅱ演習Cu(太田)	応①生物学Ⅱ演習Ad(川野)	応③哲学 薬②哲学	応①生物学Ⅱ演習Bc2(相井)		応①生物学Ⅱ演習Bc1(伊藤)		応②TOEIC英語Ⅰ	応②韓国語Ⅱ	応②中国語Ⅱ							
5							応①地学										
火		薬②生命活動のしくみB		応③理科教育法Ⅳ	薬②自然が生み出す薬物ⅡA	薬③薬物動態の解析	応③食中毒疫学	応②環境科学Ⅱ	応①化学ⅡBc(新村)	応①化学ⅡAd(中村)	薬①基礎統計解析B	薬①感染症と微生物ⅠA		薬⑥薬学総括演習Ⅱ			
2		薬②生命活動のしくみA		応③分子構造解析学	薬②自然が生み出す薬物ⅡB	薬③薬物動態演習	応①生物学ⅡBc1(伊藤)	応②植物バイオテクノロジー	応①生物学ⅡBc2(高久)	応①生物学ⅡAd(川野)	薬①基礎統計解析A	薬①感染症と微生物ⅠB					
3						応①健康管理				応②教職演習Ⅰ							
4																	
5																	
水		薬①物質の構造と状態A	応③生徒・進路指導の理論と方法		薬①細胞を構成する分子B	薬③生活環境と健康	応②環境汚染論	応②機能形態学		応①英語Ⅱ(宮崎)2	応①英語Ⅱ(高橋)2	薬②遺伝子进行操作するA		薬③医薬品のコアとパーツA			
2		薬①物質の構造と状態B	食品分析学特論		薬①細胞を構成する分子A	薬③生活環境と健康	応②生化学ⅡAdBc	応②生化学ⅡCu	応③植物育種学	応①英語Ⅱ(宮崎)1	応①英語Ⅱ(高橋)1	薬②遺伝子进行操作するB	薬②物質の分離と定量ⅡA	薬③医薬品のコアとパーツB			
3											応②教職演習Ⅰ			薬⑥薬学総括演習Ⅱ			
4																	
5																	
木		薬②薬理作用と副作用ⅠA	薬①英語リスニングⅡA	薬①英語リーディングⅡA	薬②官能基の性質ⅡB	薬③医薬品情報と患者A		応②教育心理学	応①コミュニケーション英語Ⅱ	応①教育制度・行政	薬①基礎統計解析B	薬③薬理作用と副作用ⅣB		薬⑥薬学総括演習Ⅱ			
2		薬②薬理作用と副作用ⅠB	薬①英語リスニングⅡB	薬①英語リーディングⅡB	薬②官能基の性質ⅡA	薬③医薬品情報と患者B		応②食品分析学	応③構造生物学とタンパク質工学	応①コミュニケーション英語Ⅱ	薬②資源循環論	薬③薬理作用と副作用ⅣA					
3											応②教職演習Ⅰ						
4																	
5																	
金		薬②製剤の基礎A	グリーンケミストリー特論		薬①有機分子の構造ⅡA	薬③処方せんと調剤ⅠA	応②有機化学Ⅱ	応②環境科学Ⅰ				薬①化学平衡B	薬③生体の防御B	薬②社会・集団と健康(公衆衛生学)B	薬⑥薬学総括演習Ⅱ		
2		薬②製剤の基礎B	応①化学Ⅱ演習Cu(武内)	応②理科教育法Ⅱ	薬①有機分子の構造ⅡB	薬③処方せんと調剤ⅠB	応①化学Ⅱ演習Bc1(新井)	応③生物科学	応①化学Ⅱ演習Bc2(田宮)	応①化学Ⅱ演習Ad(中村)	薬②ドイツ語Ⅱ	薬①化学平衡A	薬③生体の防御A	薬②社会・集団と健康(公衆衛生学)A			
3					応③環境分析化学		応②植物生理学	応②栄養科学				薬①基礎数学					
4								応②食料・食品資源学				応③食品流通学					
5																	



Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences

新潟薬科大学

生命と健康をみつめる



薬学部

6年制

薬学科

応用生命科学部

4年制

応用生命科学科

バイオ工学コース

環境科学コース

食品科学コース

理科教職コース

平成27年度開設予定

生命産業創造学科(仮称)

